

A photograph of several hands of different skin tones cupping a white paper cutout of a family consisting of a man, a woman, and two children.

# 2024年3月期 第3四半期 決算説明資料

Feb 14<sup>th</sup>, 2024

株式会社リビングプラットフォーム  
(証券コード：7091)

# 目次

1. エグゼクティブサマリー	3
2. 2024年3月期 第3四半期 連結決算業績	5
3. 各事業の状況	25
4. SDGs/ESGsへの取組み	36
5. 会社概要および事業領域等	40



# エグゼクティブサマリー

# エグゼクティブサマリー

- ✓ 2Qに続き、人材採用環境が悪化し、採用コストも高騰するなかで、派遣職員の増員も余儀なくされ、人件費が急速に増加した。また、職員の雇用遅滞等により入居受入れを停止する必要が発生し施設稼働率の稼働率向上に抑制がみられた。さらに、助成金受領のために必要であった利用料の値上げ停止も加わり、3Qの営業利益はマイナスに落ち込んだ
- ✓ これにより、営業利益及び経常利益の業績予想の達成は困難と判断し、業績予想の下方修正を実施することとした
- ✓ 物価高騰対策および新規開設に関わる助成金は営業外利益に計上されていること等により、経常利益以下はプラスとなっており、通期での当期純利益も当初の業績予想を上回る見込みである
- ✓ 業績予想において保守的に算出した水道光熱費は、助成金により計画に対し大きく抑制されている傾向は続いている
- ✓ ブルー・ケア(株)は、3Qも順調に推移し、1施設を除きほぼ定常状態に到達した。これにより当初の業績予想で想定した利益水準を既に超過した
- ✓ 障がい者支援事業は、3Qも赤字となったが、4Q以降黒字に転換する見込みである。2024年4月での開発規制が見送られたため、今後開発を継続する
- ✓ 依然として来期以降の最大の経営課題のひとつである水道光熱費の高騰の対策として、太陽光パネルの設置を進めている
- ✓ 一部の事業所が損益を悪化させている状況であるが、概ね改善の目途はついてきたと考えている。4Qは2月に大きく利益が低下するために厳しいものとなるが、4月以降の新年度では従前よりターゲットとしていた2025年3月期であることから、よいスタートを切れるよう、3月までの期間を最大限に有効活用する
- ✓ コーポレート部門においてはDXとともに海外人材の採用を進める方針である
- ✓ 特定の疾患を中心とした有料老人ホームの運営については、既存の施設において部分的に開始した



# 2024年3月期 第3四半期 連結決算業績

# 連結決算サマリー

## 運営

採用体制の刷新・強化  
エネルギー・食料価格高騰対策

### 採用体制の刷新・強化

- 採用データの捕捉・分析に改善の余地があるため、2024年1月より体制の変更を行った

### エネルギー・食料価格高騰対策

- 今年度の電気料金は助成金によって抑制されているが、来期以降は本来の水準に戻ると想定されるため、対策を急いでいる

## 財務

自己資本比率を向上  
借入金を返済しうる体制の構築

### 自己資本比率向上方針の継続

- 今年度は新規開設および事業承継が立て続いたため、来期以降は開発を抑え、利益の確保に注力し、現預金の確保と自己資本比率の向上を進める
- 現時点では一定規模以上のM&Aが進まない限り増資は検討していない

## 教育・管理

採用と教育の強化  
管理部門の効率性向上

### 採用と教育の強化

- 特定技能外国人の採用については、今後も継続的に行っていく

### 管理部門の効率性向上

- DXを継続中。2024年3月期において、第一段階を終了させる
- 今後はデータの活用による業務改善に注力する

## コンプライアンス・ガバナンス

内部統制の強化・定着

### 内部統制の強化・定着

- コンプライアンス監査および内部統制監査においても、データの活用を推進し、効率性を向上させている

## 🌸 連結貸借対照表の概況

- ✓ 1Qにおけるエコ社よりの事業承継を全て現金を対価としたため、現預金は減少（事業承継費用は先期において借入済）するとともに4.1億円ののれん代が計上されている
- ✓ 2Qでは7事業所の新規開発を実施したことにより、土地・建物等も増加
- ✓ 想定していたS&LBを実施しなかったため、自己資本比率は期首想定には到達していない

(百万円)

	FY23.3 期末 実績	FY24.3 通期 期首予想	FY24.3 通期 修正予想	FY24.3 3Q 実績	前期末増減
流動資産	4,413	4,351	4,185	3,702	-712
(現預金)	1,882	3,006	1,252	1,077	-806
固定資産	6,989	7,139	8,128	7,896	907
(土地・建物等)	3,585	2,780	3,440	4,332	747
資産合計	11,402	11,746	12,313	11,599	196
流動負債	3,989	2,579	4,025	3,482	-507
固定負債	5,941	7,029	6,570	6,565	624
負債合計	9,930	9,608	10,596	10,048	117
純資産	1,471	2,138	1,717	1,550	78
負債純資産合計	11,402	11,746	12,313	11,599	196
自己資本比率	12.7%	18.2%	13.9%	13.8%	1.1%
借入金等（長短借入金）	6,337	5,911	5,290	6,051	-286

## 🌸 連結損益計算書の概況

- ✓ 2021年10月に承継したブルー・ケアの業績改善、助成金による水道光熱費高騰の抑制など、期初に想定していた減益要因は乗り切ったが、助成金の受領要件である値上げ未実施を満たすため価格の転嫁が想定通りには進んでいないため、営業利益は想定より低下した
- ✓ 新規開設施設では1棟を除き入居が順調に進みつつあるが、9-10月に発生した大量の感染により、既存事業所での逝去・長期入院等が発生し、売上が一定程度減少した
- ✓ 継続的な事業の運営及び開設において、人員確保は必須であるところ、景気の回復等により採用コストが急騰し、利益を圧縮した
- ✓ DX促進のために実行したシード企業への投資が全額減損することになり、また監査法人との協議によりのれん代の償却の積み増しを行うことになり、利益を圧迫した
- ✓ FY23.3 4Qより控除対象外消費税を販管費に計上することとしたため、昨年同期との比較では営業利益は下落しているが、経常利益では前年同期比と比較すると増加

(百万円)

	FY23.3 3Q 実績	FY24.3 通期 期首予想	FY24.3 通期 修正予想	FY24.3 3Q 実績	FY24.3 累積 (4~12月)	対予想進捗率
売上高	3,481	16,928	16,609	4,182	12,293	74.0%
営業利益	△1	246	△93	△97	△67	-
%	△0.1%	1.5%	△0.6%	△2.3%	△0.5%	
控除対象外消費税額	82	-	-	-		
経常利益	△39	266	122	19	124	101.6%
%	△1.1%	1.6%	0.7%	0.5%	1.0%	
税金等調整前当期純利益	△36	266	231	△10	123	53.2%
%	△1.0%	1.6%	1.4%	△0.2%	1.0%	
親会社株主に帰属する当期純利益	△40	182	189	5	84	44.4%
%	△1.2%	1.1%	1.1%	2.0%	0.7%	

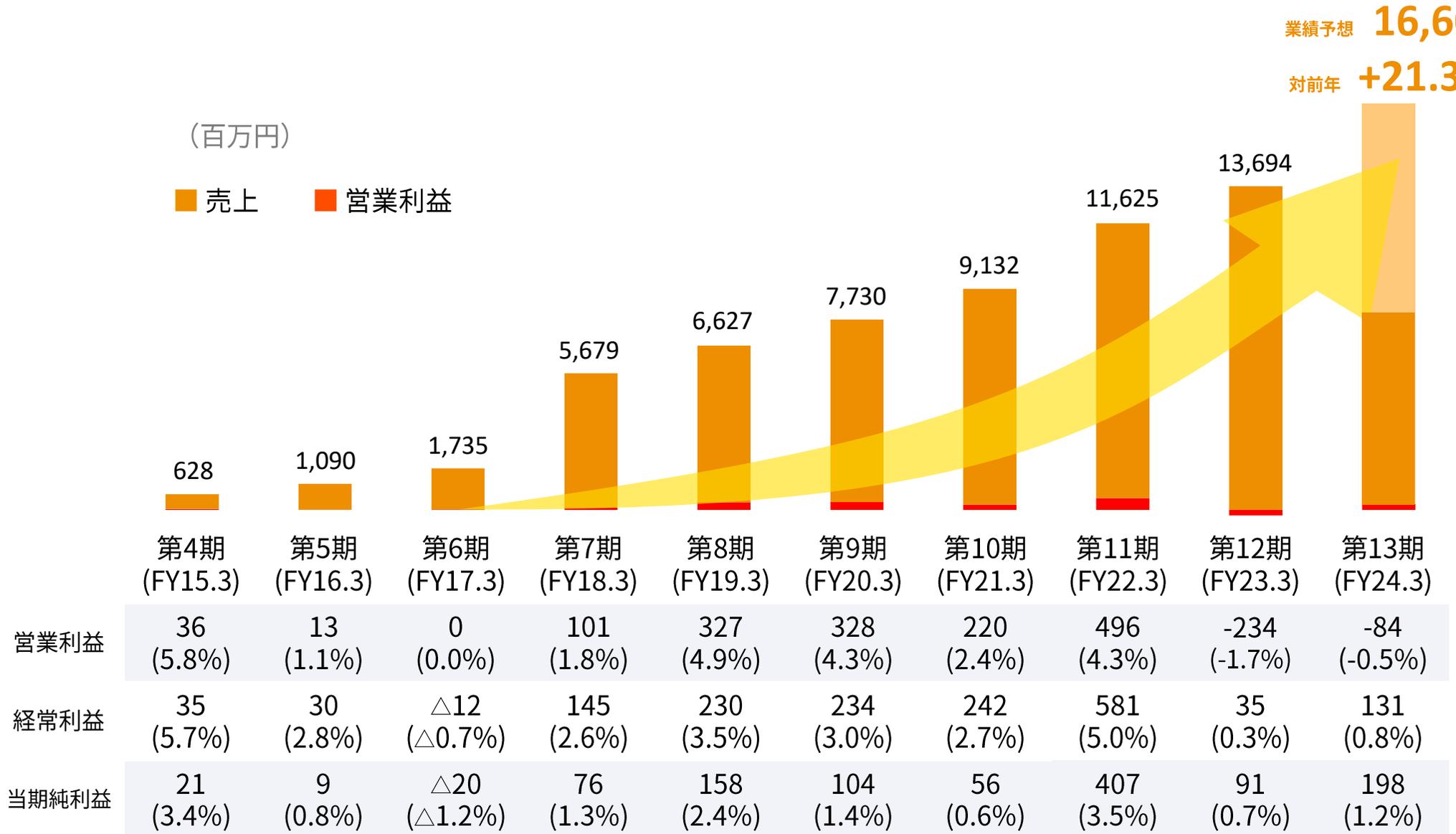


# 売上と営業利益、経常利益、税前利益、当期純利益の推移

業績予想 **16,609**  
対前年 **+21.3%**

(百万円)

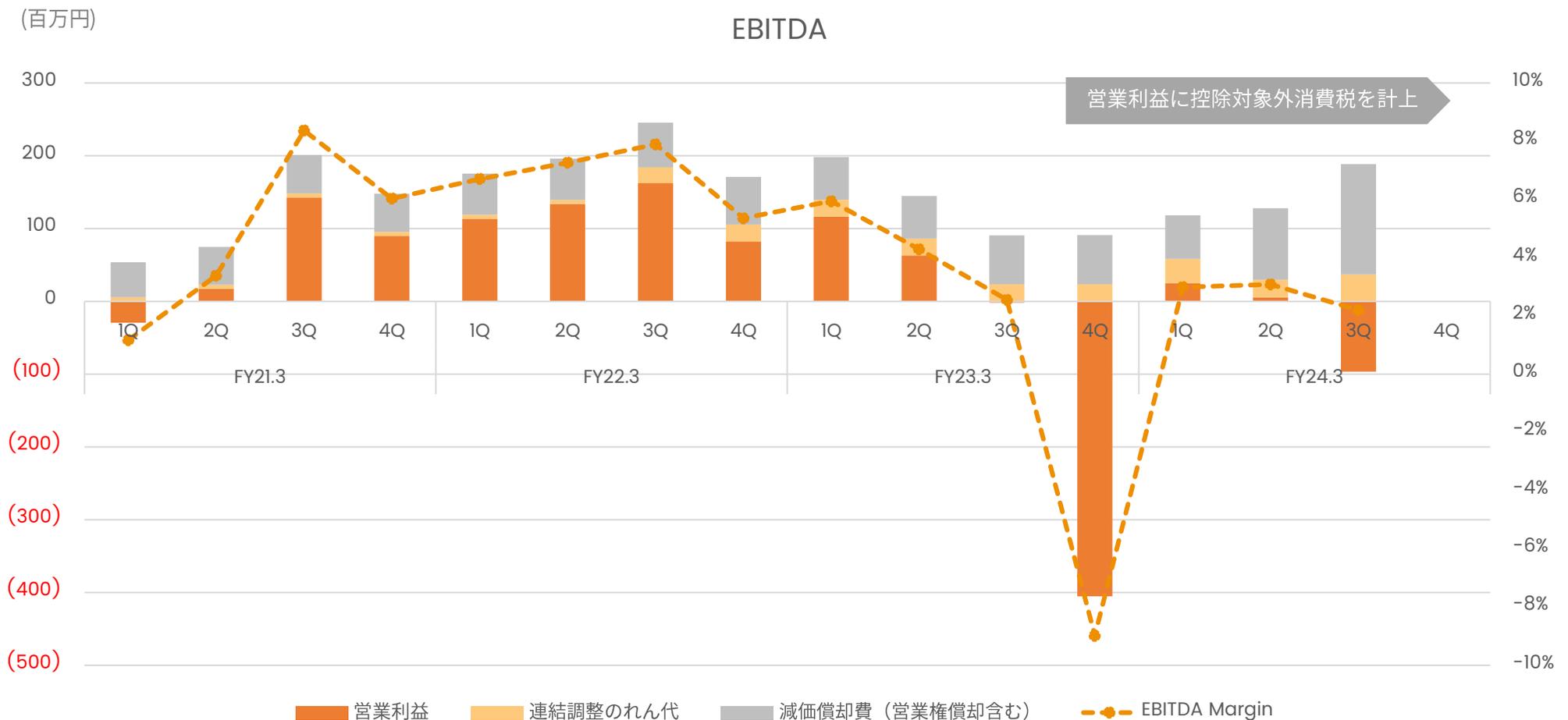
■ 売上 ■ 営業利益



備考：第6期以前は単体、第7期からは連結  
第13期は業績予想値

# EBITDAの四半期推移

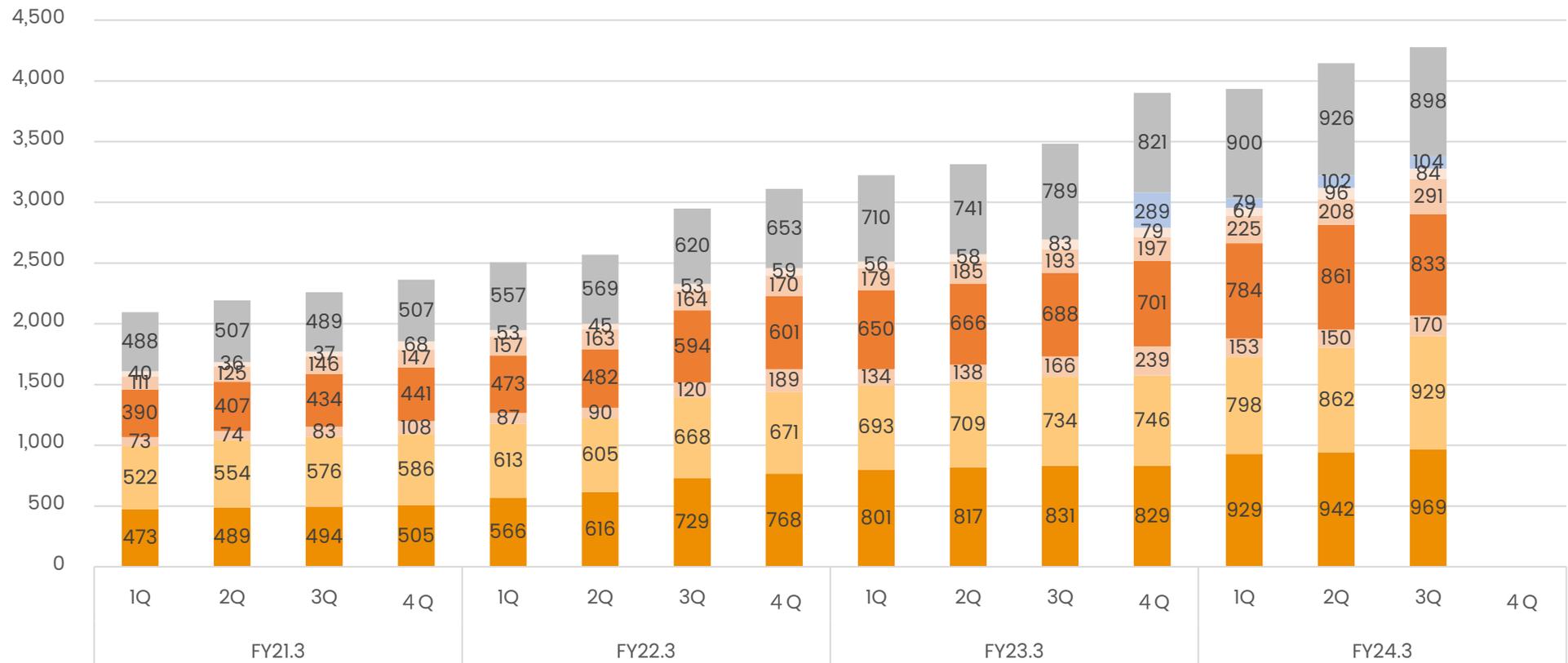
- ✓ FY23.3, 4Qより控除対象外消費税を販管費に計上することとしたため、見かけ上の営業利益（第3四半期連結で控除対象外消費税は約104百万円）は下がったが、成長軌道に変化はない



# 売上原価・販売費および一般管理費の構造

- ✓ 新規開設した施設の人員充足のため、採用に関わる紹介料・募集広告費、人件費が大きく増加
- ✓ 食費は引き続き物価上昇の影響を受けているが、助成金の動向を鑑み、価格転嫁が有利な場合には、継続して値上げを行う予定
- ✓ 水道光熱費は助成金により抑制されているが、太陽光パネルを2024年4月以降に設置予定
- ✓ 消耗品の増加については管理体制を強化中
- ✓ DX等推進のため本部職員の採用費が一時的に膨らんでおり、今期および来期は一定の支出が想定される
- ✓ 新規開設増加に伴い、緊急の求人が発生し、派遣費用が急激に増加した

(百万円)



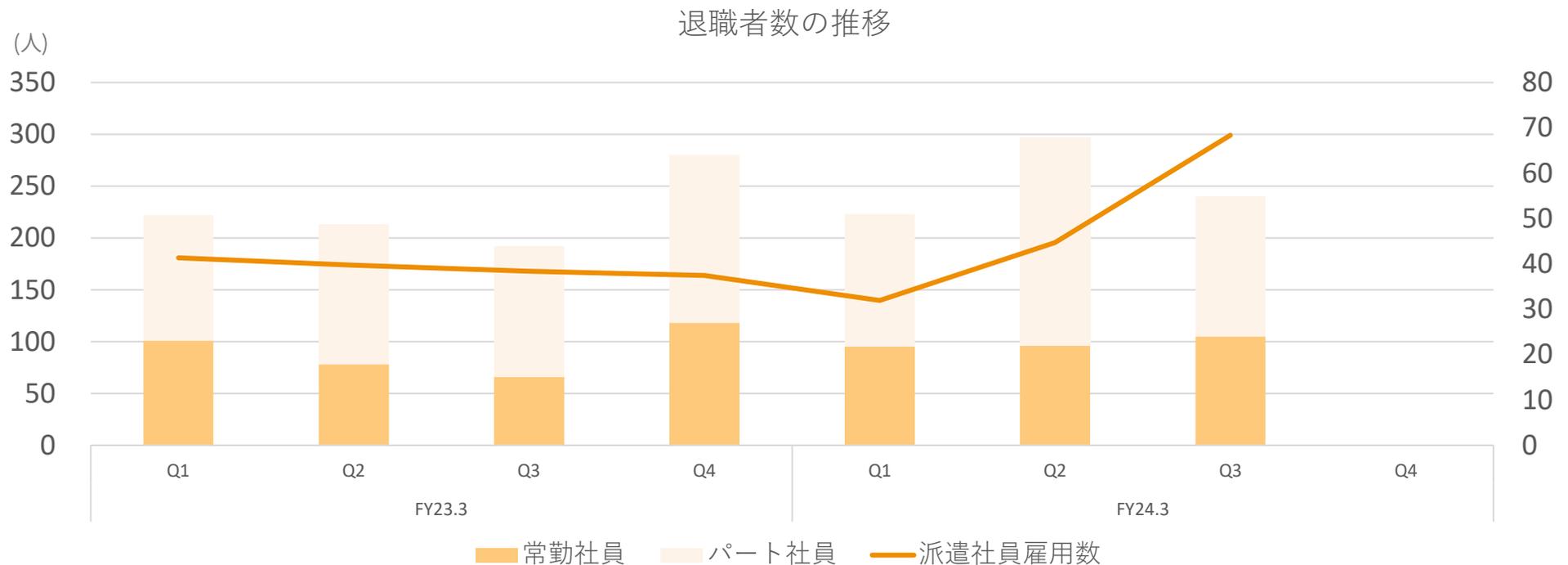
■ 人件費・正社員 ■ 人件費・パート ■ 水光熱費 ■ 家賃 ■ 食費 ■ 消耗品 ■ 控除対象外消費税 ■ その他

# 減益要因 1：退職者数の増加

- ✓ 2Q以降、景気回復が主因と捉えられる退職者が相次ぎ、新規事業のみならず既存事業においても稼働率が低下するとともに、採用及び派遣費用が膨大に生じた
- ✓ 4Q以降は抑制傾向にある

## 今後の対応策

定着率の高い特定技能外国人の採用をさらに推し進める  
人事制度改革により退職率の低減を図る

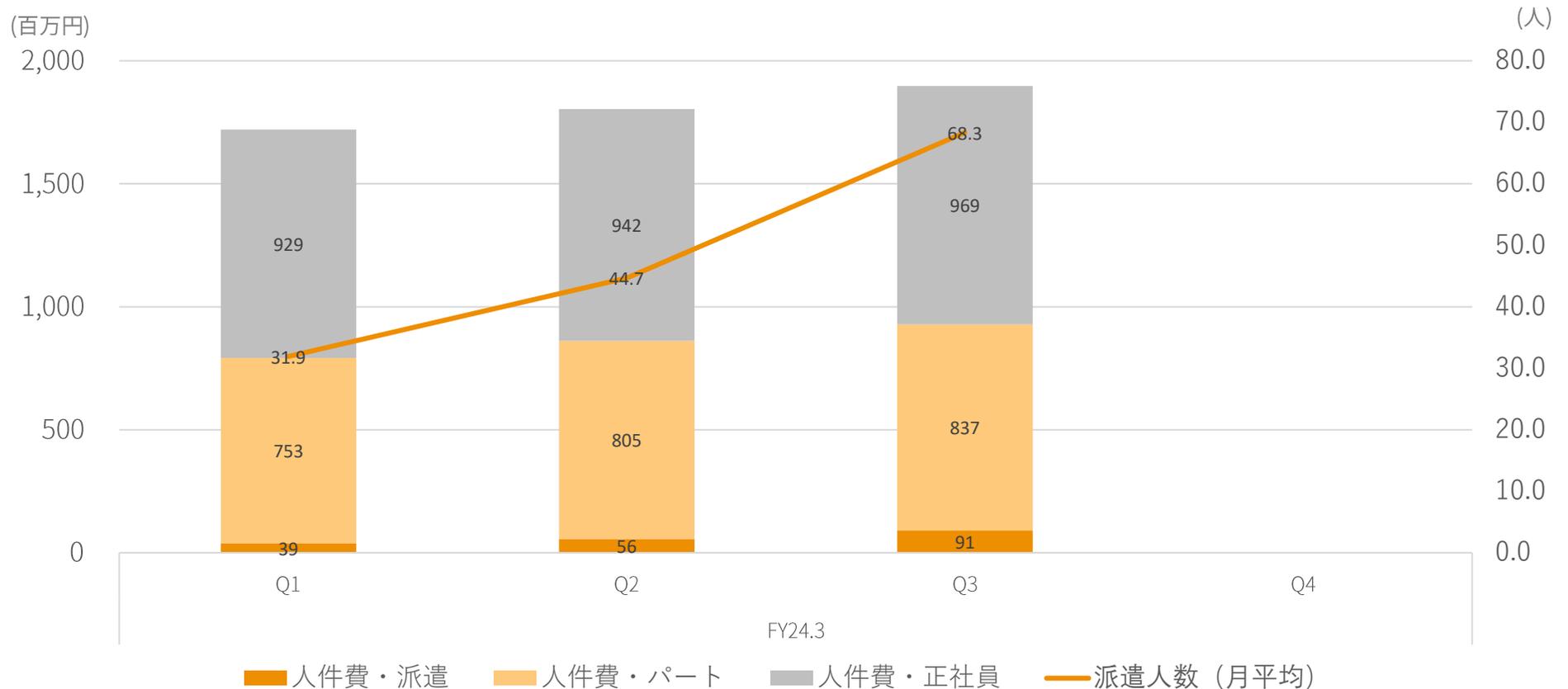


## 減益要因 2：人件費の高騰と派遣社員の増加

- 景気回復により、コロナ中に他業種から流入した人材の流出と思われる離職が多数発生したこと、および多くの新規開設による緊急の人材需要等のため、人員不足が発生。一時的に派遣社員で補ったことにより派遣社員費用が増加

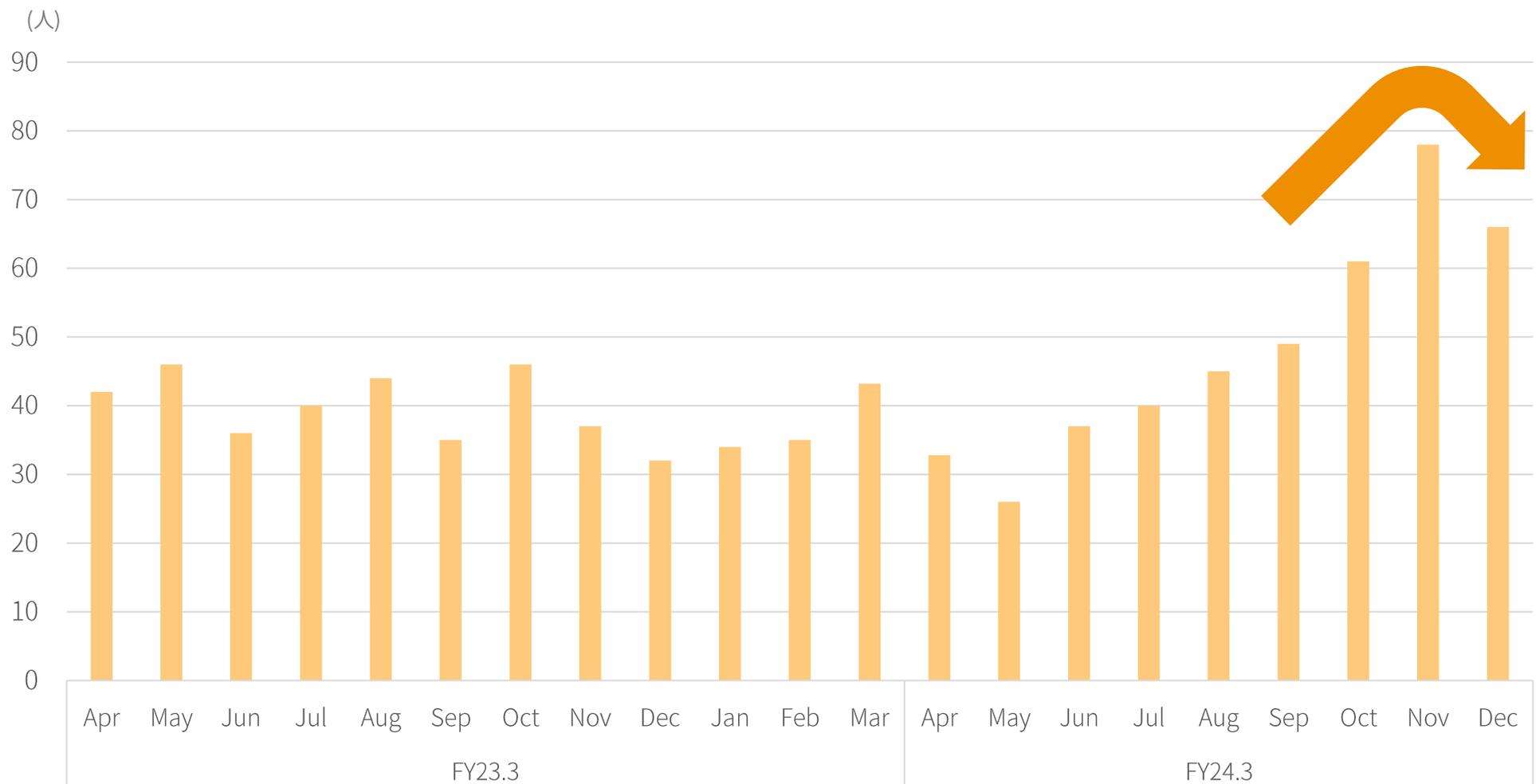
### 今後の対応策

新規開設の抑制  
採用活動のDX



## 派遣職員数の推移

- ✓ 2Qに退職者が急増したこと、および新規開設の入居需要が想像需要に強かった等により、一時的な労働力確保のため、3Qの派遣社員数が増加したが、職員の雇用が進んだことにより、派遣職員数は既にピークアウトしている

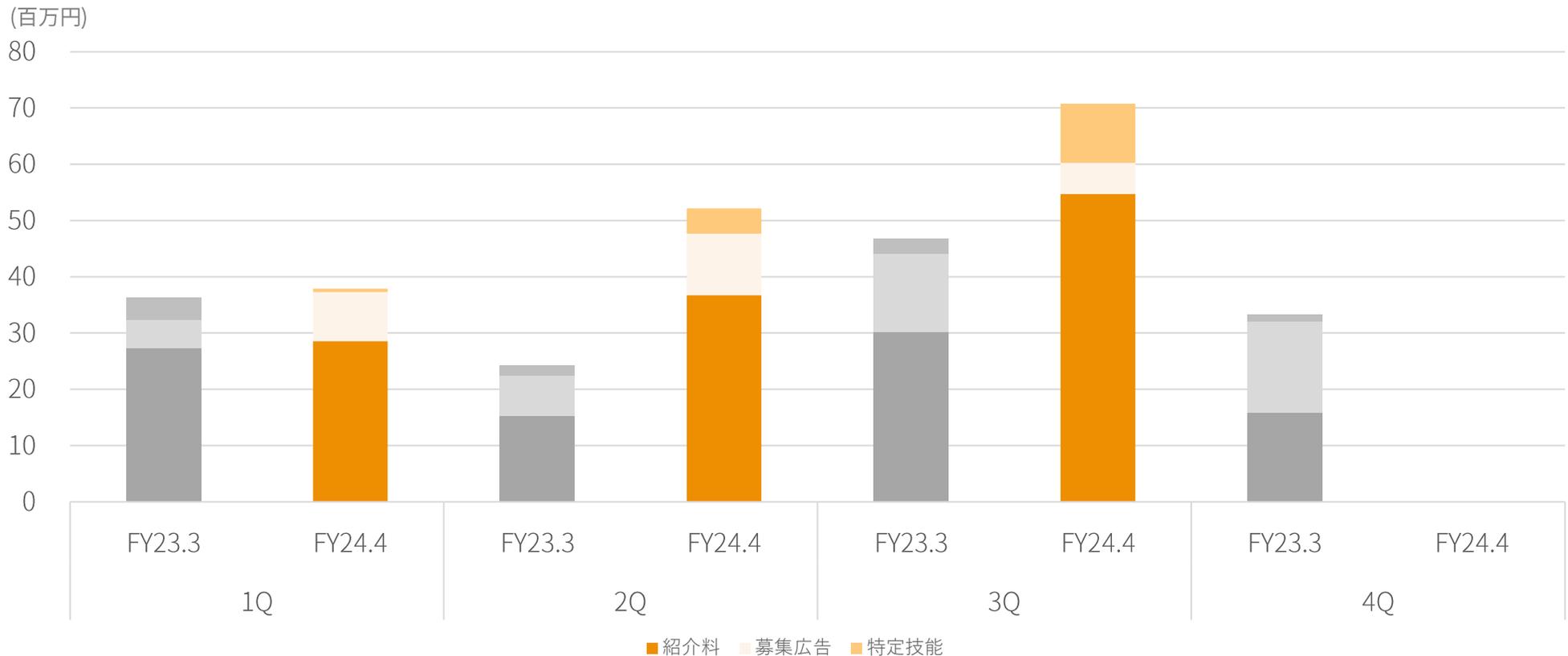


## 減益要因 3：採用関連費の状況

- ✓ 新規開設増加に伴い、継続的な採用が必要とされるなか、景気の回復と共に採用コストが急騰した
- ✓ 積極的な特定技能外国人採用により、受入初期費用が増大したが、今後の定着への先行投資として考えている

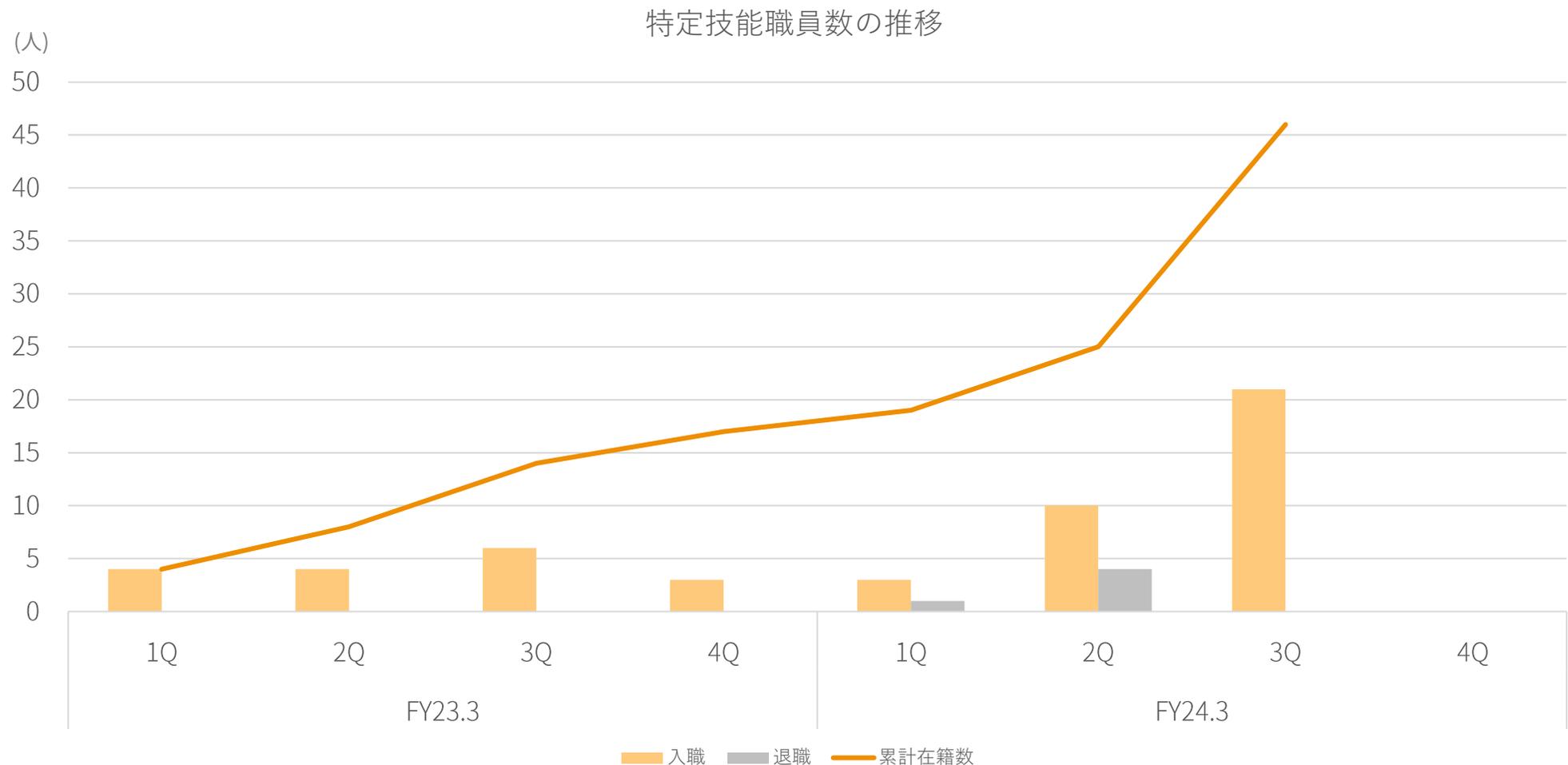
### 今後の対応策

#### 採用活動のDX



# 特定技能外国人採用の状況

- ✓ 積極的な特定技能外国人採用により、受入を拡大している
- ✓ 日本人職員に比べ、定着率が高く、受入初期費用は発生するものの、長期的には職員確保として有効な手立てであり、引き続き特定技能外国人の採用を進めていく

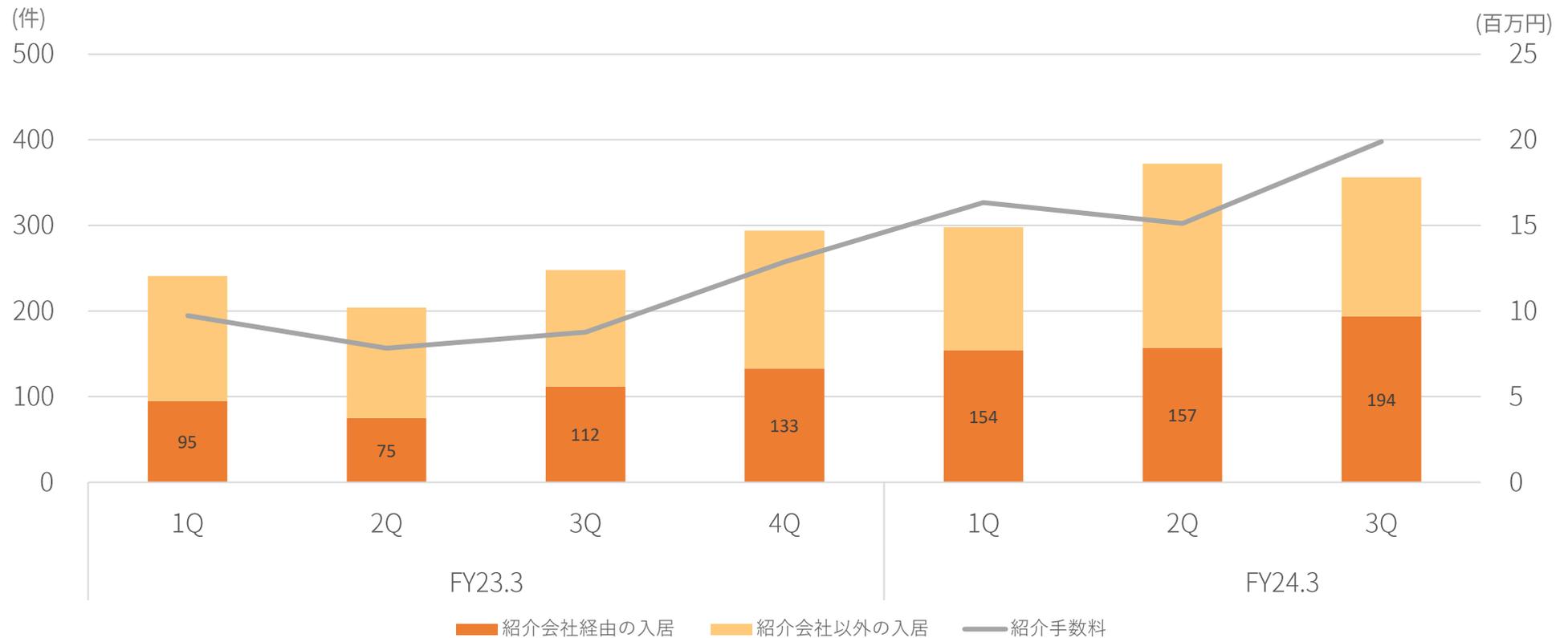


## 減益要因 4：入居紹介手数料の増加

- ✓ 人員不足により入居営業を担っていた事業所職員の活動が抑制され、紹介会社経由での入居が増加
- ✓ 1名あたりの紹介費用は、昨年同比べ、**+6.9%**上昇

### 今後の対応策

入居営業人員の拡充  
入居営業体制のDX



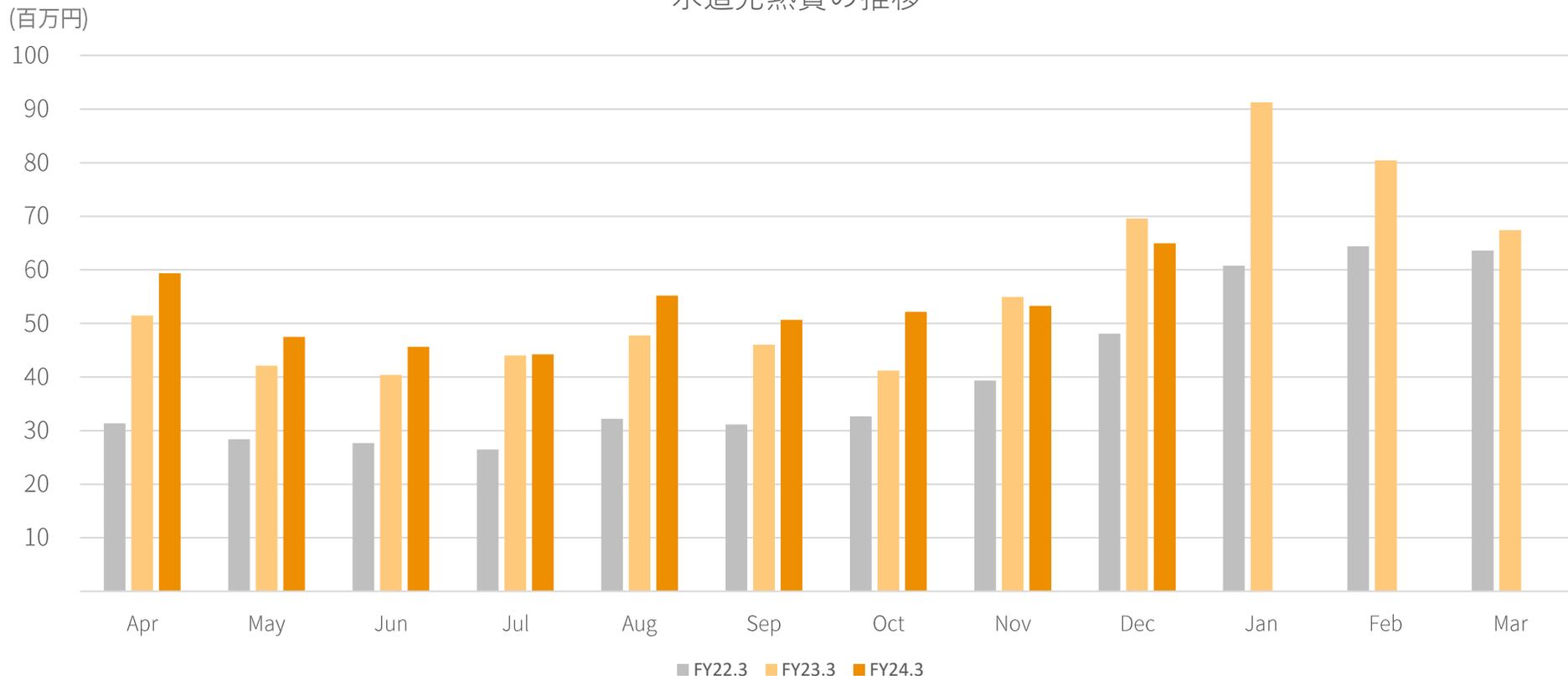
# 水道光熱費の状況

- ✓ 予算では水道光熱費の高騰を昨年同等の値上げ率で見込んだが、2023年2月以降の政府助成金により値上げ幅は鈍化したため、**予算比で約-89百万円(3Q)**、**累計では約-200百万円**の差額が発生した
- ✓ 政府助成金の終了後、2024年5月以降では、再び費用が増大する可能性がある

## 今後の対応策

価格転嫁により高騰額の一部は吸収されているが、今後の高騰状況を注視しつつ必要に応じて再値上げを行う

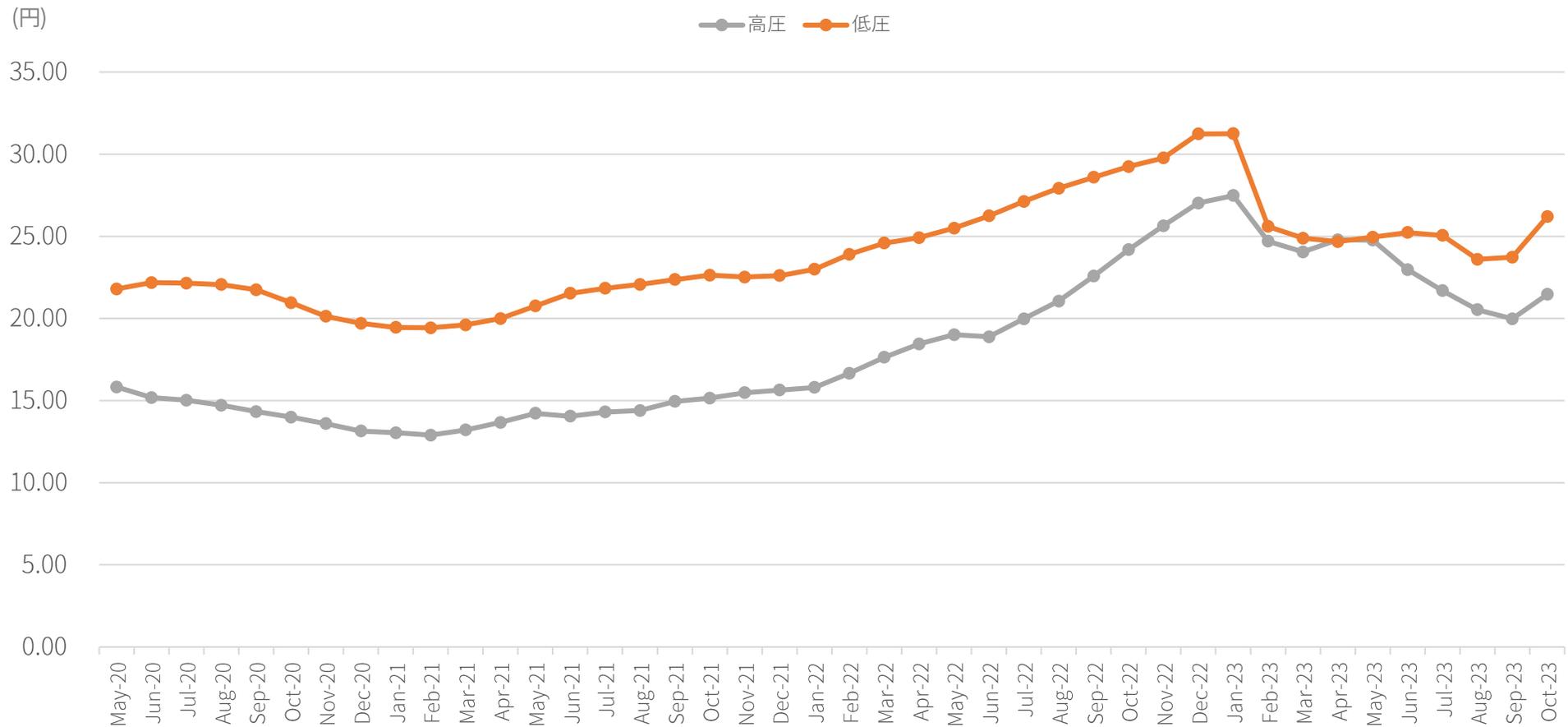
水道光熱費の推移



# 電気料金の状況

- ✓ 2023年2月以降、政府助成金により単価は下落したものの、10月以降では再び上昇傾向が見られる
- ✓ 当社保有施設では、低圧電力および高圧電力を併用

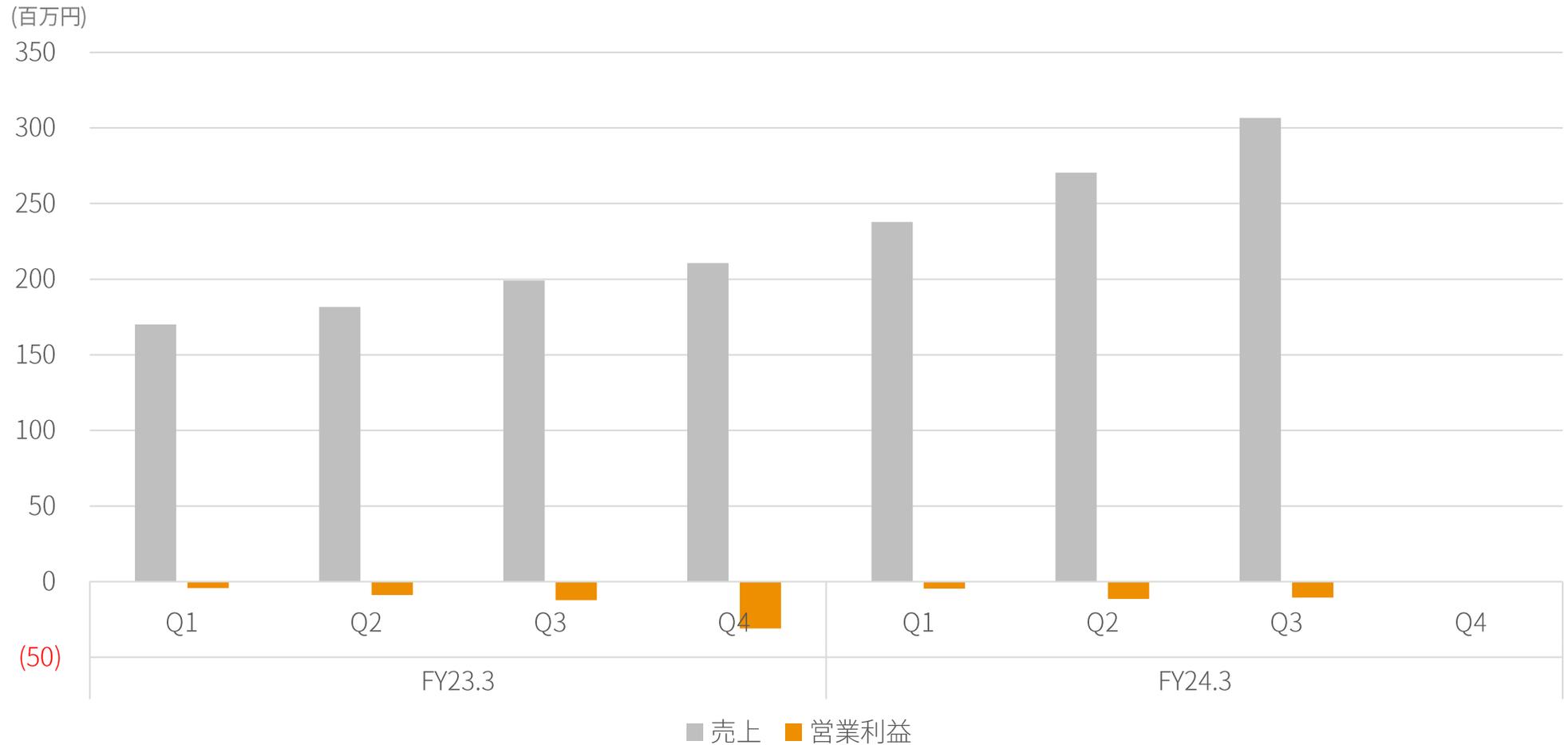
全国電気料金単価の推移



出典 電気・ガス取引監視等委員会

# 障がい者支援事業の状況

- ✓ 障がい者支援事業は営業利益ではマイナスが続いているものの、4Q以降は黒字化を見込む



\*

## 減益要因 5：特別損失の発生

### ✓ 投資有価証券評価損

2022年10月に出資を行った、AI画像解析技術による徘徊・転倒等の検知および予知サービスの開発を行うスタートアップ企業について、20万ドル（約28百万円）の減損処理を行った。

同社は、AIによる画像解析技術等を用いて、転倒や徘徊などを検知・防止し、介護担当者が適切な対策を取ることを支援するソリューションを開発する企業であり、介護アセスメントから日常状態のモニタリング、事故検知の通知・記録までを一貫して行うことができるAIケアマネージメントとも呼べるサービスを提供している。

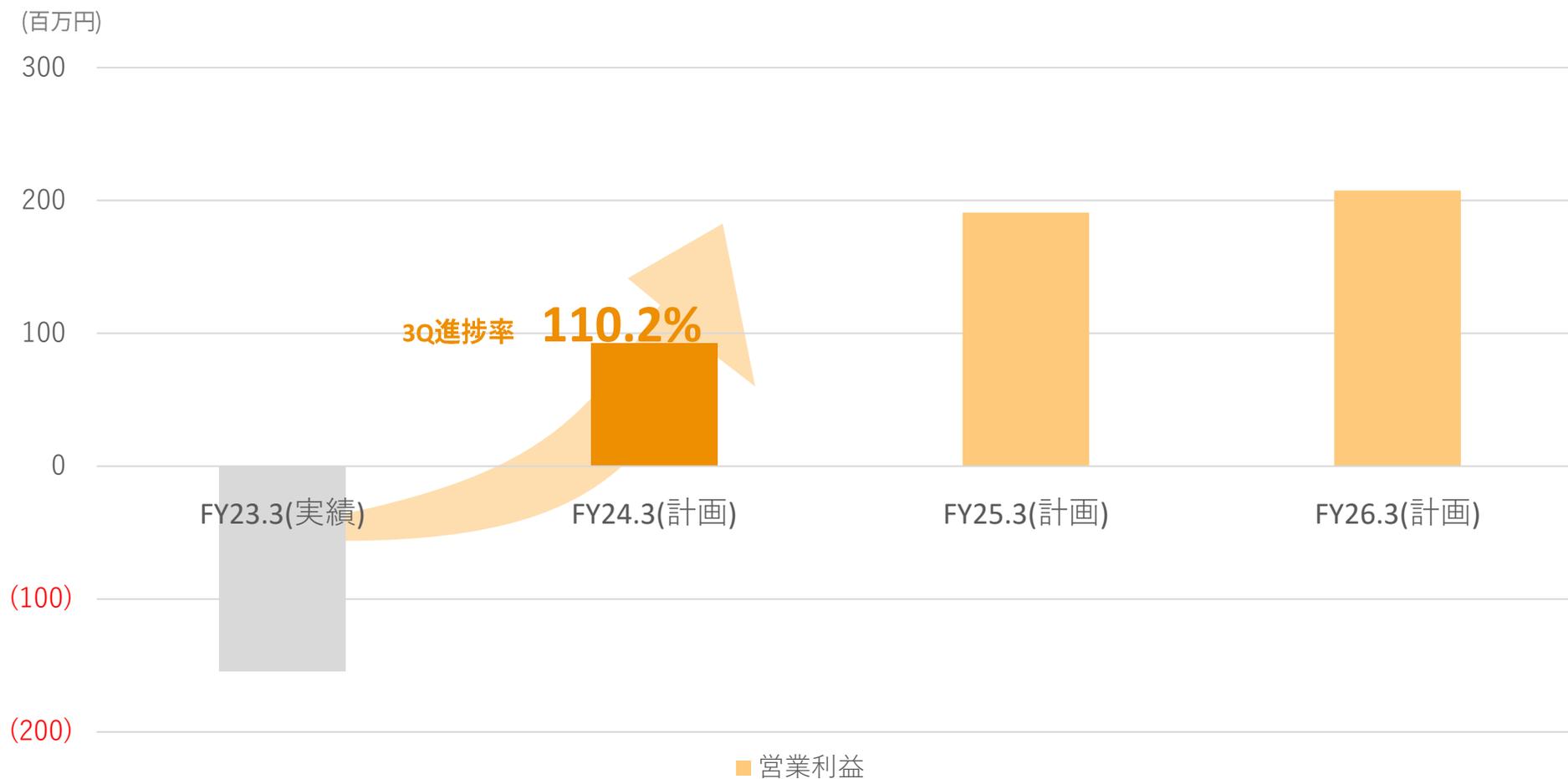
介護施設に入居する高齢者の転倒等事故は重症化するリスクが高く、その後の健康状態及び生活の質に多大な影響を与えることから、当社としても優先度の高い課題である。今期において減損処理を行うこととなったが、技術向上と課題解決にむけて、同社とは引き続き協力を行っていく。

### ✓ のれん償却期間の変更

2023年4月に買収したエコ社について、当初のれん償却期間を13年と見込んでいたが、監査法人との協議の上、11年に短縮した結果、4,763千円（四半期ベース）の追加償却が発生した。

# ブルー・ケア(株)の業績向上

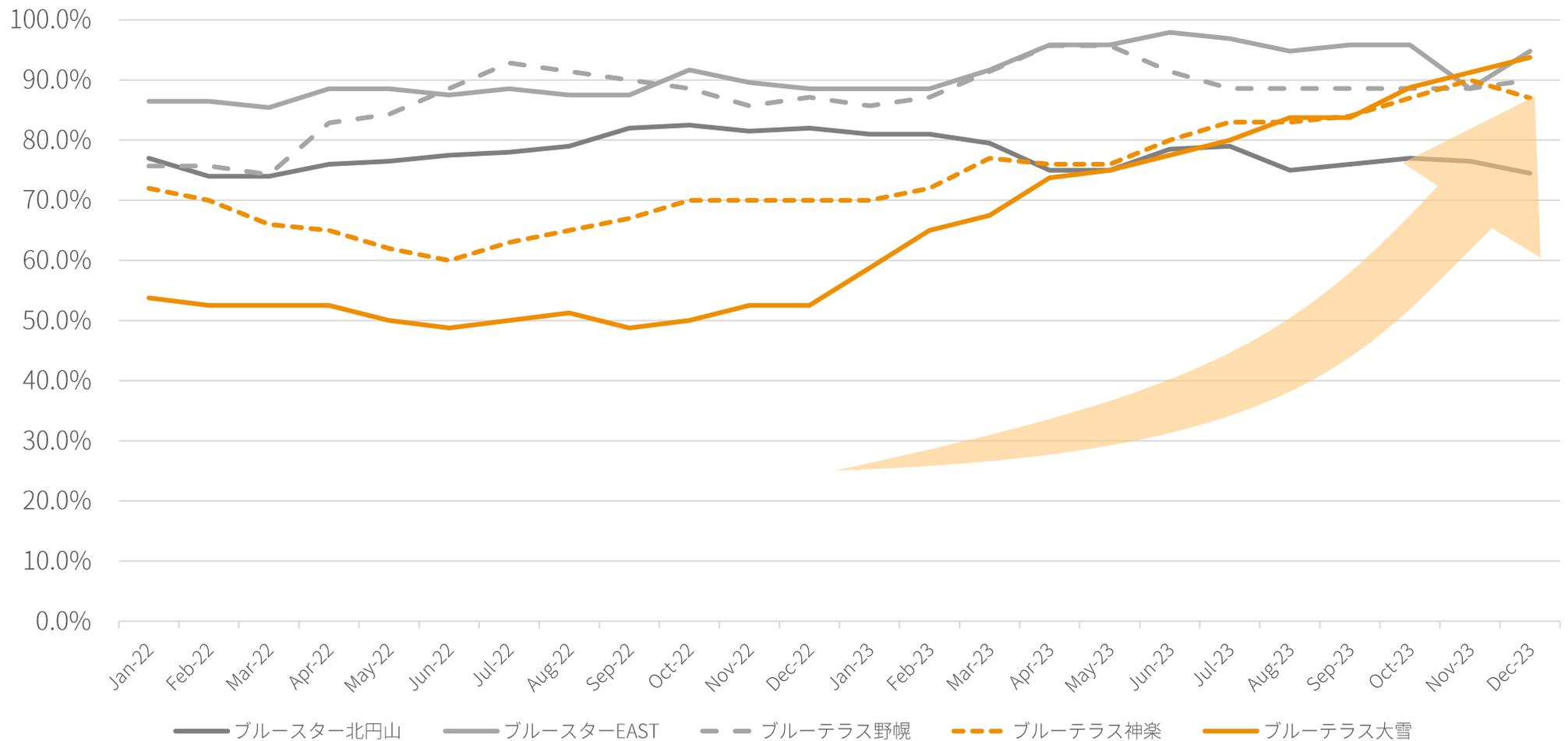
- ✓ 急速に稼働率が向上してきており、今期計画に対し、3Q時点で既に110.2%を達成



# ブルー・ケア(株)の業績向上：稼働率

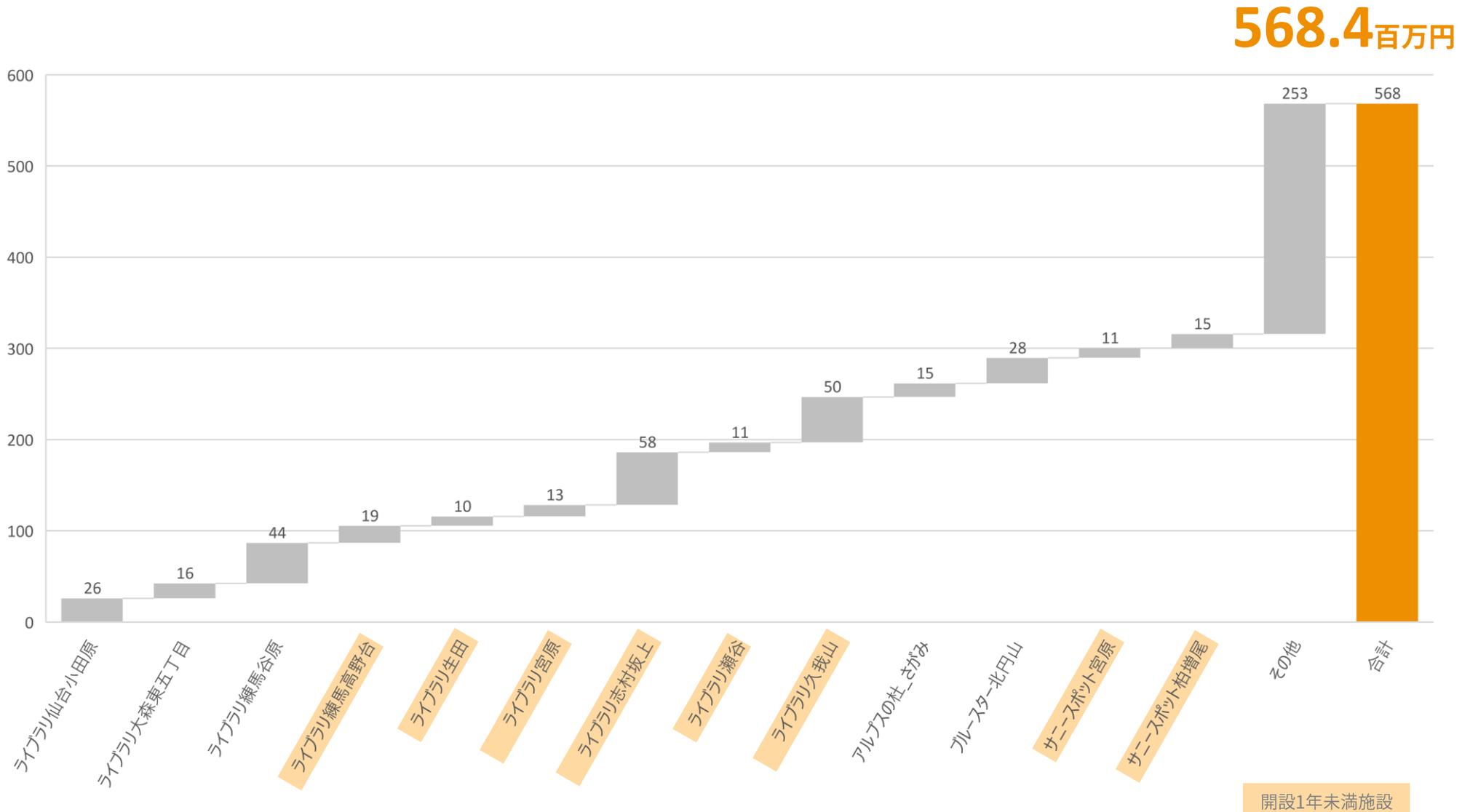
- ✓ 長らく低迷をしていたブルーテラス神楽、ブルーテラス大雪が急速に改善をした結果、全体の利益改善につながっている
- ✓ 北円山は逝去・退去により一時的に12月の稼働率が下がったが、回復に向かっている

稼働率の推移



# 今後の営業利益における改善余地（四半期ベース）

- ✓ 今後稼働率が向上することにより、3Q実績に比べ、現時点の事業で568.4百万円程度（四半期ベース）の営業利益の改善余地がある





## 各事業の状況

# ビジネスサマリー

## 介護

自社開発と事業承継を  
両輪として成長

**自社開発事業は一定の拡大を予定。事業承継は引き続き推進**

- 3Qでは10月に有料老人ホーム1棟を開設済み
- 4Qに有料老人ホーム1棟の開設、グループホーム2棟の承継を予定し、**今期計画を達成する開設が確定**している
- 前年同期比で売上は**+19.9%**
- 特定の疾患を中心とした有料老人ホームの企画を進める

## 障がい者支援

グループホームに集中

**グループホームの開発を最優先として推進**

- 前年同期比で売上は**+48.8%**
- 4Qで更に1棟の開設が確定しており、今期の開設計画は達成見込み

## 保育

既存園のプログラム改善に注力

**厳選した地域での運営に注力**

- 2Q以降は園児が増加しつつあり、稼働率が向上
- 自治体の新規開設需要が無くなりつつあり、事業計画としてはFY24.3以降の新規出店は見込まない
- 今後は自社プログラムの改善と職員満足度・質の向上および新卒採用の拡大を当面の目標とする

# 🌸 FY24.3 開設実績 (M&A含む)



## 2023年12月末総施設数 (カッコ内は3Q増加数)

🌸	介護	
	有料老人ホーム等	40(+1)
	グループホーム	45(0)
🌸	障がい者支援	
	就労継続支援B型	9(0)
	グループホーム	19(0)
🌸	保育	
	認可	13(0)
	企業主導	2(0)
	認可外	1(0)

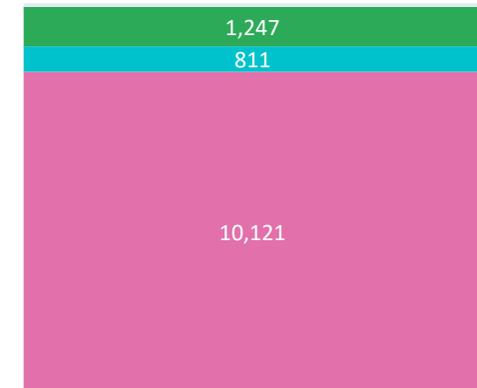
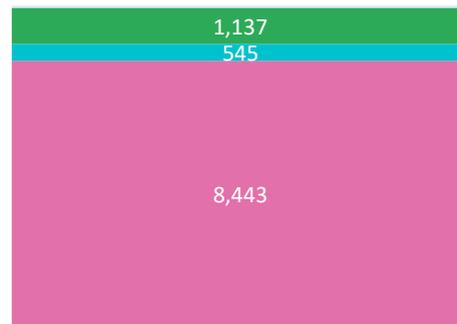
# 事業領域別 売上の推移

■ 介護 ■ 障がい者支援 ■ 保育 ■ その他

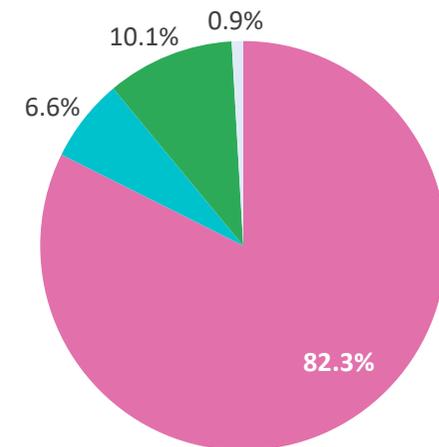
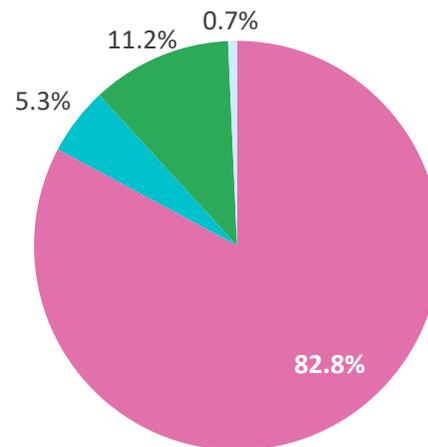
FY23.3 3Q

FY24.3 3Q

売上高  
(百万円)



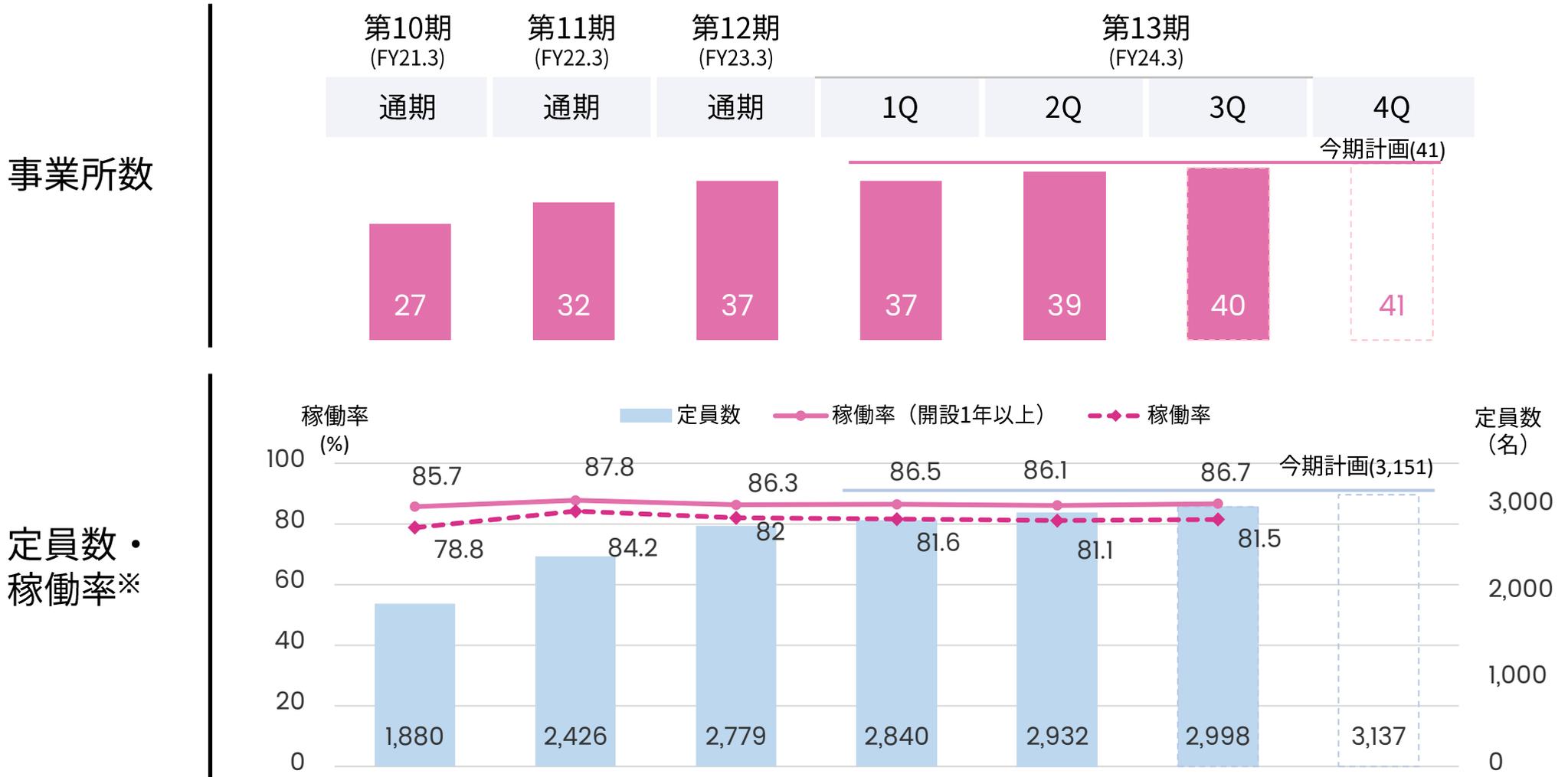
構成比率



# 事業所数・定員数・稼働率の推移

介護：有料老人ホーム等

✓ 新規事業所数が増えたために稼働率は低下したが、入居者数は着実に増えている



※4Q以降は決定済みの開設予定数（2024年2月1日現在）

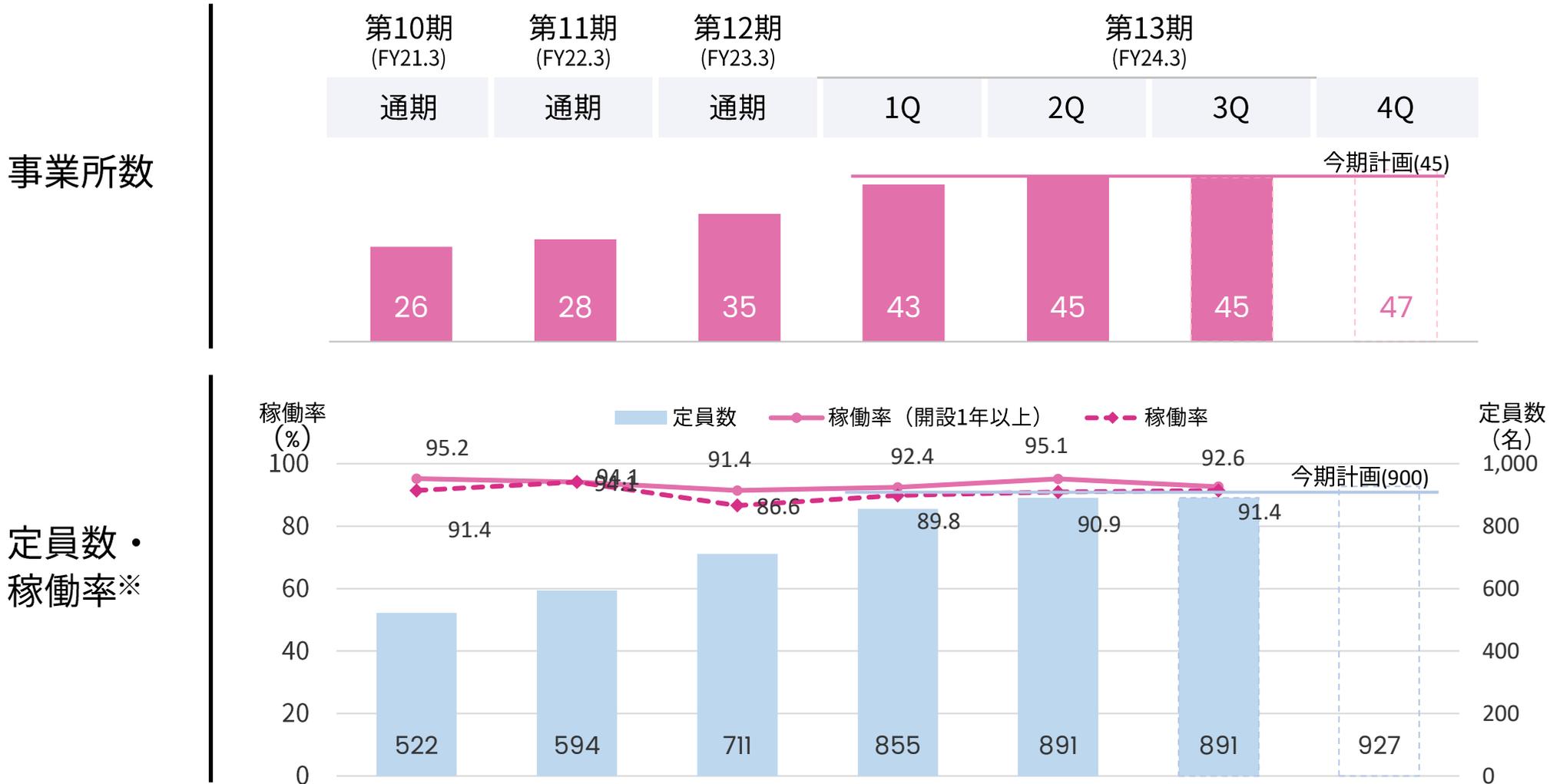
※稼働率は各期末時点で右記の通りに算出しています。

$$\text{稼働率} = \frac{\text{各事業所の月末時点の入居者数の総和}}{\text{各事業所の定員数の総和}}$$

# 事業所数・定員数・稼働率の推移

介護：グループホーム

- ✓ 4Qにグループホーム2棟を承継
- ✓ 開設1年未満の施設の稼働率も高く、全体稼働率は上昇傾向



※4Q以降は決定済みの開設予定数（2024年2月1日現在）

※稼働率は各期末時点で右記の通りに算出しています。

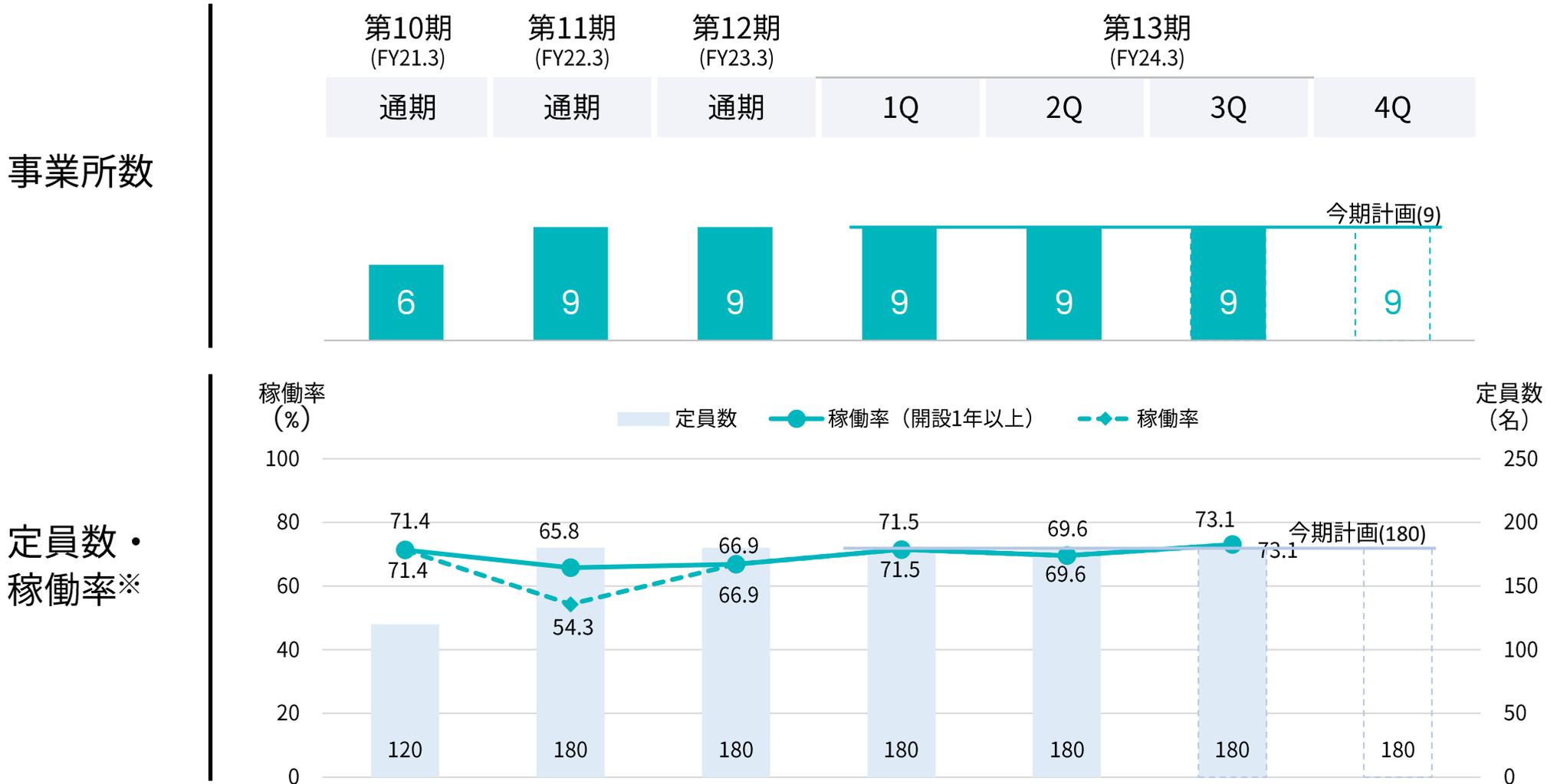
$$\text{稼働率} = \frac{\text{各事業所の月末時点の入居者数の総和}}{\text{各事業所の定員数の総和}}$$



# 事業所数・定員数・稼働率の推移

障がい者支援：就労継続支援B型

✓ 新規開設は行っていないが、既存施設の稼働率はコロナ発生以前と同レベルに回復



※4Q以降は決定済みの開設予定数（2024年2月1日現在）

※稼働率は各期末時点で右記の通りに算出しています。

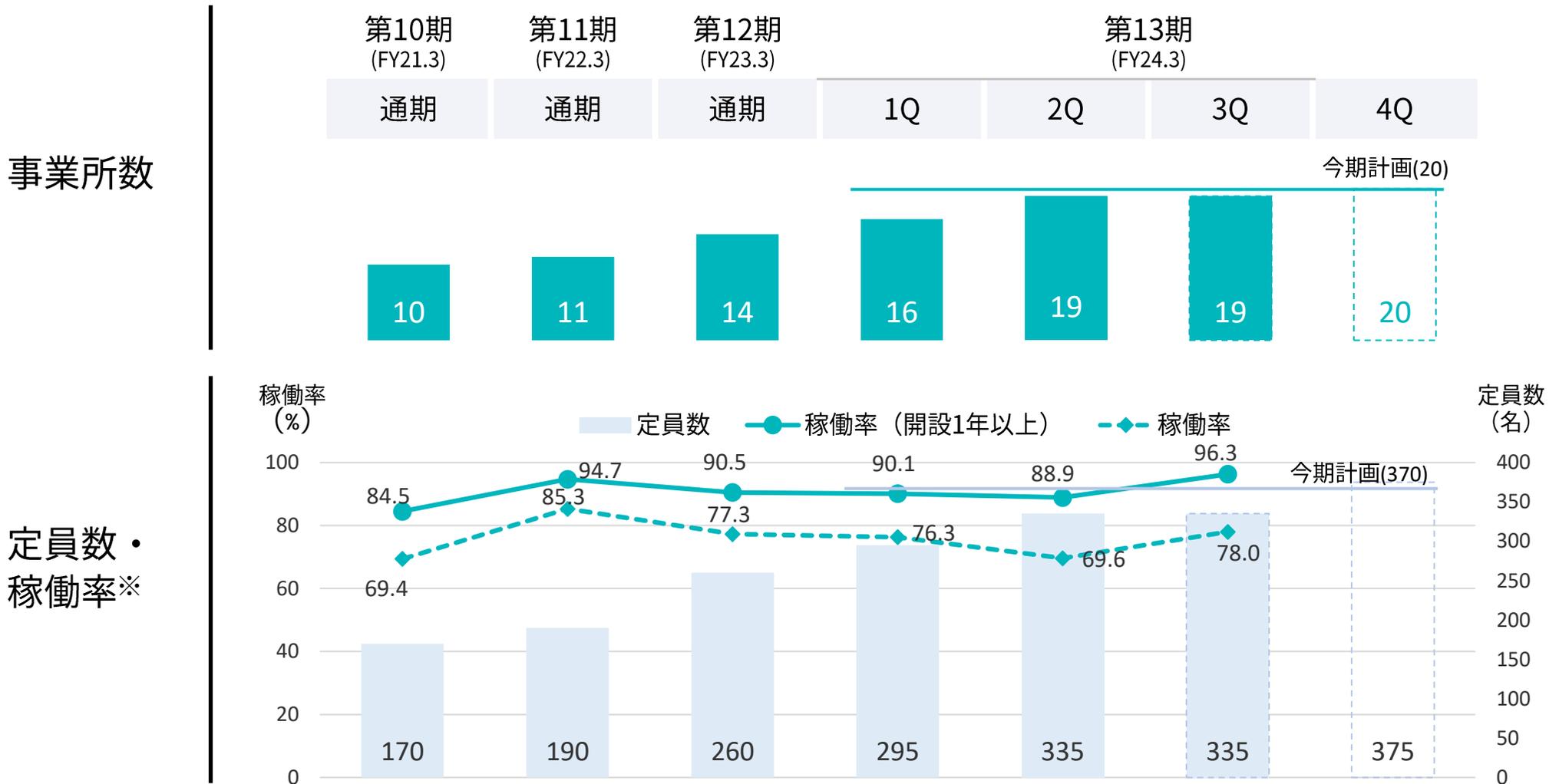
$$\text{稼働率} = \frac{\text{各事業所の月末時点の入居者数の総和}}{\text{各事業所の定員数の総和}}$$



# 事業所数・定員数・稼働率の推移

障がい者支援：グループホーム

- ✓ 新規開設事業の開設が続いたため全体稼働率は下がっているものの、既存施設では稼働率は上昇傾向にある



※4Q以降は決定済みの開設予定数（2024年2月1日現在）

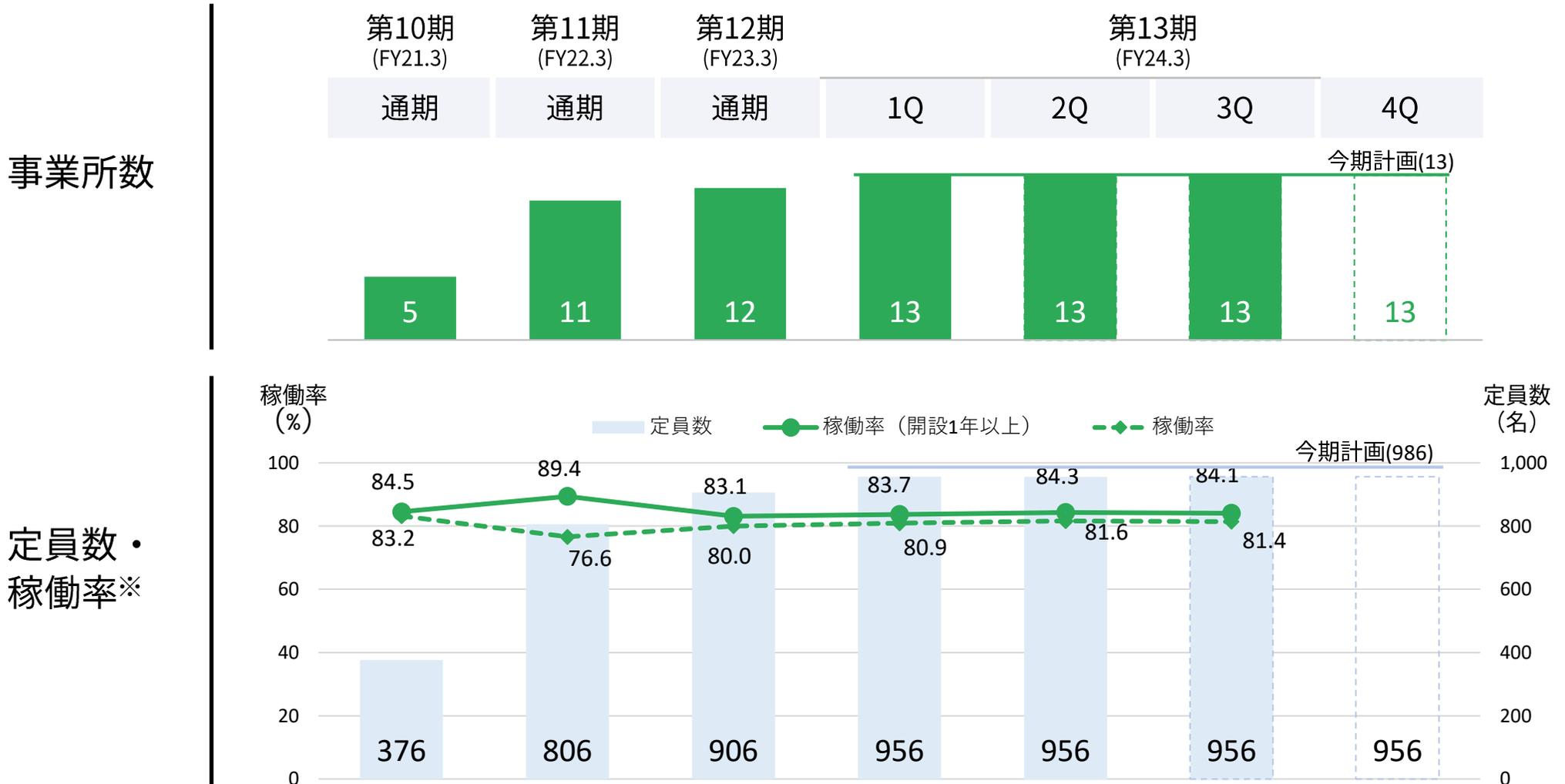
※稼働率は各期末時点で右記の通りに算出しています。

$$\text{稼働率} = \frac{\text{各事業所の月末時点の入居者数の総和}}{\text{各事業所の定員数の総和}}$$

# 事業所数・定員数・稼働率の推移

保育：認可保育所

✓ 全体稼働は順調に上昇傾向。引き続き稼働率の向上を目指す



※4Q以降は決定済みの開設予定数（2024年2月1日現在）

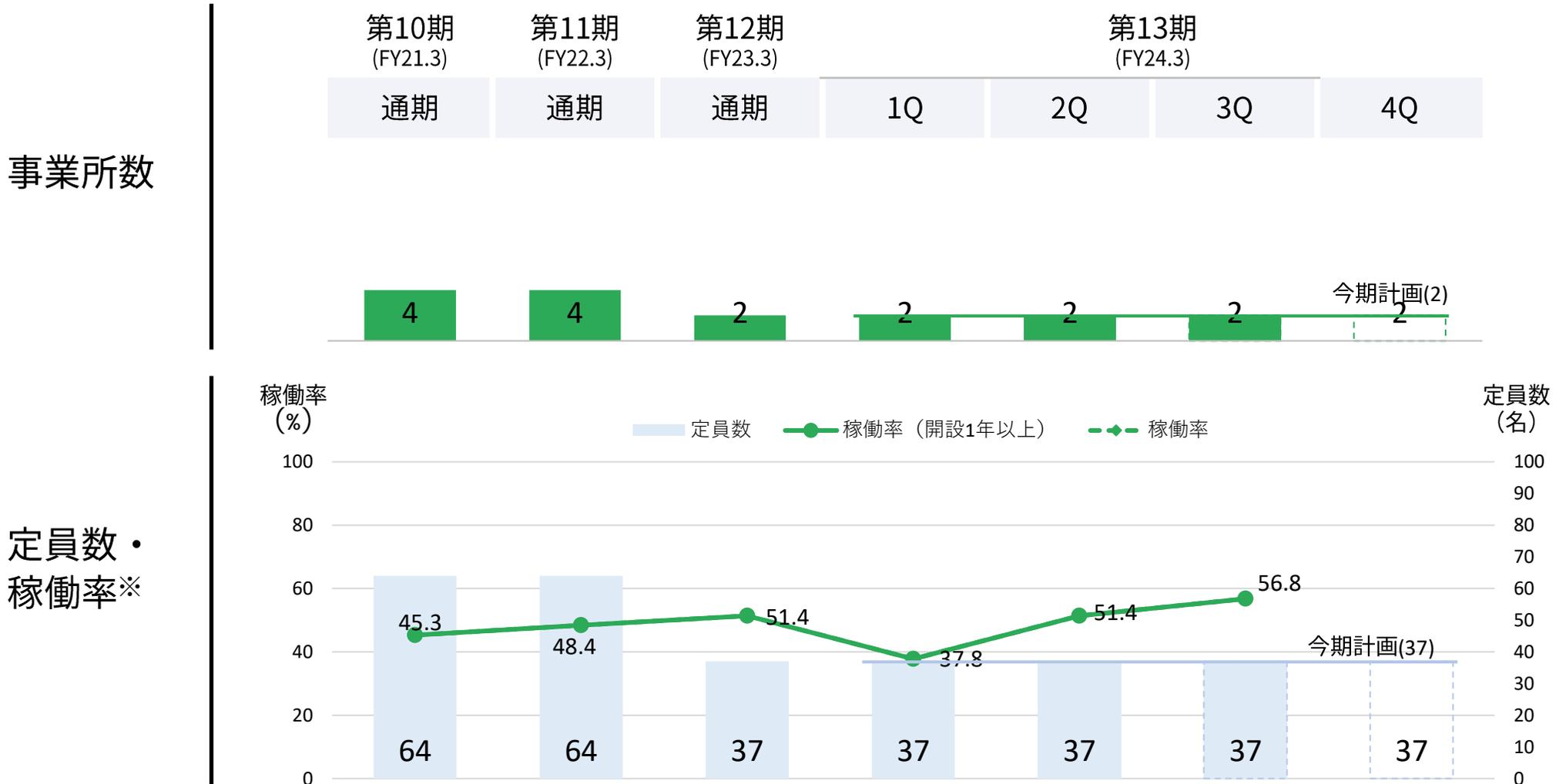
※稼働率は各期末時点で右記の通りに算出しています。

$$\text{稼働率} = \frac{\text{各事業所の月末時点の入園児数の総和}}{\text{各事業所の定員数の総和}}$$

# 事業所数・定員数・稼働率の推移

保育：企業主導型保育所

✓ 今後は稼働率の向上を狙う



※4Q以降は決定済みの開設予定数（2024年2月1日現在）

※稼働率は各期末時点で右記の通りに算出しています。

$$\text{稼働率} = \frac{\text{各事業所の月末時点の入園児数の総和}}{\text{各事業所の定員数の総和}}$$



# FY24.3以降の開発実績・予定

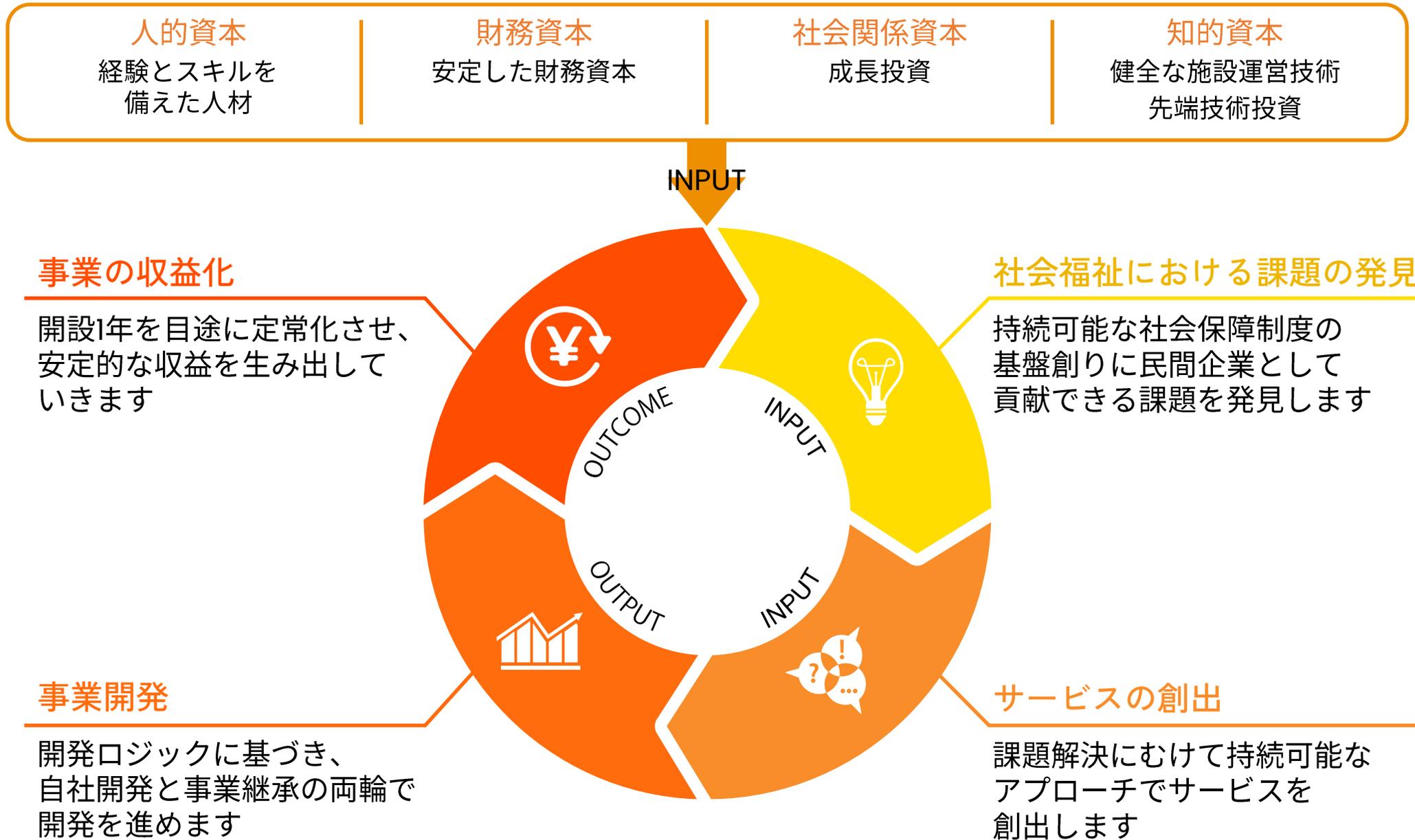
開設済み

事業領域	事業所種類	施設名	所在地	開設予定時期	定員数(名)	備考
介護事業	グループホーム	ライブラリ福室	宮城県仙台市	2023年4月	18	認知症対応型共同生活介護
	有料老人ホーム等	ライブラリ志村坂上	東京都板橋区	2023年5月	93	住宅型有料老人ホーム
	有料老人ホーム等	ライブラリ仙台小田原	宮城県仙台市	2023年7月	92	介護付き有料老人ホーム
	グループホーム	ライブラリ台原	宮城県仙台市	2023年7月	18	認知症対応型共同生活介護
	グループホーム	ライブラリ宮原	埼玉県さいたま市	2023年7月	18	認知症対応型共同生活介護
	有料老人ホーム等	ライブラリ瀬谷	神奈川県横浜市	2023年7月	61	介護付き有料老人ホーム
	有料老人ホーム等	ライブラリ久我山	東京都杉並区	2023年10月	66	介護付き有料老人ホーム
	有料老人ホーム	ライブラリ柏中央	千葉県柏市	2024年3月	71	住宅型有料老人ホーム
	グループホーム	ライブラリ横浜丸山	横浜市磯子区	2024年4月	27	認知症対応型共同生活介護
	有料老人ホーム	ライブラリ朝霞	埼玉県朝霞市	2024年6月	68	住宅型有料老人ホーム
	グループホーム	ライブラリ神戸摩耶	兵庫県神戸市	2024年6月	27	認知症対応型共同生活介護
	有料老人ホーム	ライブラリ井荻	東京都杉並区	2024年7月	71	介護付き有料老人ホーム
	有料老人ホーム	ライブラリ上本郷	千葉県松戸市	2024年10月	70	住宅型有料老人ホーム
	有料老人ホーム等	ライブラリ世田谷深沢	東京都世田谷区	2025年4月	65	住宅型有料老人ホーム
	有料老人ホーム等	ライブラリ下総中山	千葉縣市川市	2025年8月	71	住宅型有料老人ホーム
障がい者支援事業	グループホーム等	サニースポット福室	宮城県仙台市	2023年4月	10	共同生活援助
	グループホーム等	サニースポット相模原鶉野森Ⅰ	神奈川県相模原市	2023年6月	20	共同生活援助
	グループホーム等	サニースポット宮原	埼玉県さいたま市	2023年7月	20	共同生活援助
	グループホーム等	サニースポット相模原鶉野森Ⅱ	神奈川県相模原市	2023年9月	20	共同生活援助
	グループホーム等	サニースポット柏増尾	千葉県柏市	2023年9月	20	共同生活援助
	グループホーム	サニースポット東橋本Ⅰ	相模原市緑区	2024年3月	20	共同生活援助
	グループホーム	サニースポット北柏	千葉県柏市	2024年8月	20	共同生活援助
	グループホーム	サニースポット淵野辺三丁目Ⅰ	相模原市中央区	2024年9月	20	共同生活援助
	グループホーム	ライブラリ上本郷	千葉県松戸市	2024年10月	20	共同生活援助
	グループホーム等	サニースポット下総中山	千葉縣市川市	2025年3月	20	共同生活援助
	グループホーム	サニースポット東橋本Ⅱ	相模原市緑区	2025年3月	20	共同生活援助
	グループホーム	サニースポット淵野辺三丁目Ⅱ	相模原市中央区	2025年9月	20	共同生活援助
保育事業	認可保育所	きゃんばす中野保育園	東京都中野区	2023年4月	70	認可保育所



## SDGs/ESGsへの取組み

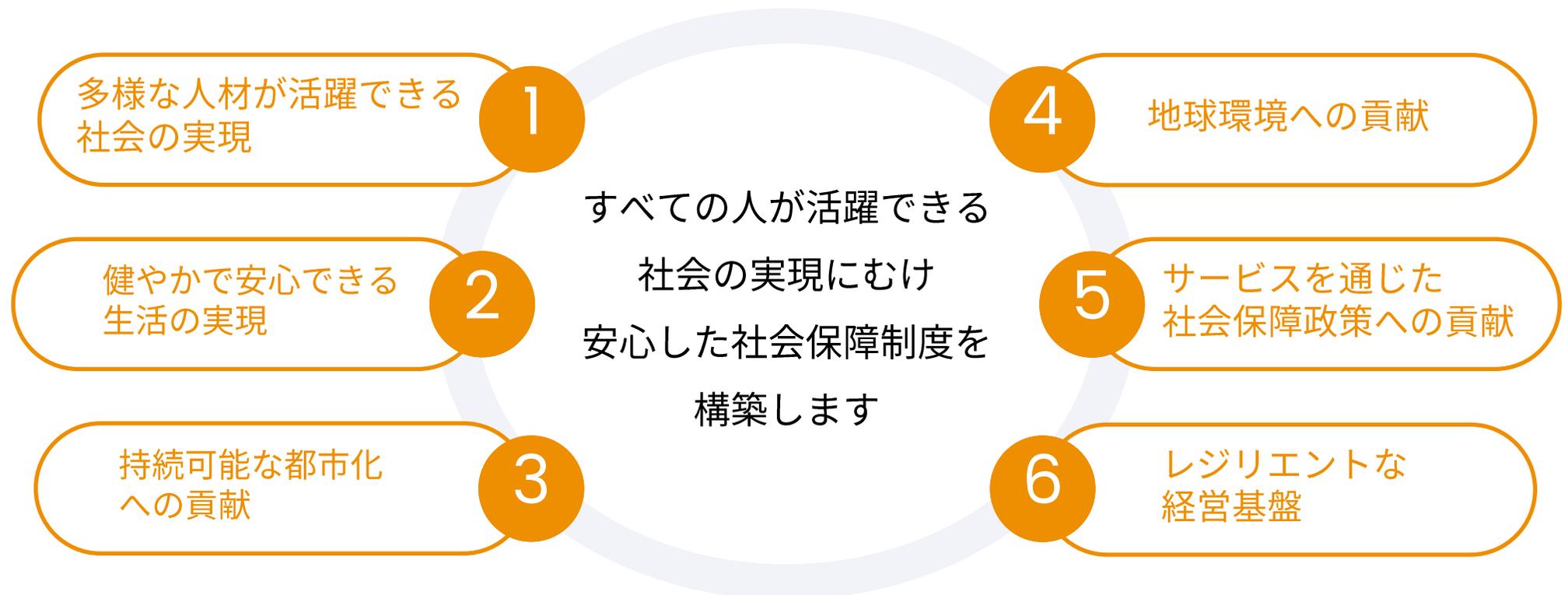
# リビングプラットフォームの価値創造プロセス



# 🌿 サステナビリティへの取り組み

「すべての人が活躍する社会へ」  
持続的な社会づくりと継続的な事業成長

さまざまな社会問題が深刻化する中、平和で豊かな持続可能な社会の実現に向けた世界共通のテーマである「SDGs」への取り組みが企業に求められています。  
当社では「すべての人が活躍する世の中を」というコンセプトのもと、6つのテーマをマテリアリティとして特定しています。生産性、資本、労働力それぞれの面から社会福祉を考えることで、民間企業による持続可能な社会保障制度を構築することを目指しています。



# サステナビリティへの取り組み

## 多様な人材が活躍できる 社会の実現



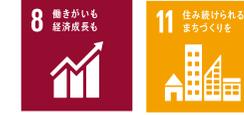
1. 介護・保育・障がい者支援を通じて、人々の働く機会を最大化
2. 成長をけん引する人材開発のための教育機会の創出
3. 社員と利用者のダイバーシティ & インクルージョン

## 健やかで安心できる 生活の実現



1. 誰もが容易に利用可能かつ生活レベルの維持・向上を可能にする社会福祉施設の提供
2. 社会福祉施設提供を通じた介護離職・保育離職の防止

## 持続可能な都市化 への貢献



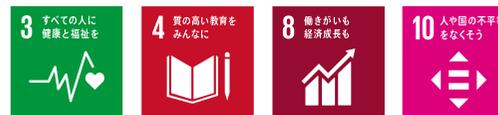
1. コンパクトシティ構想に準じた施設開拓
2. 先進的な職場環境による生産性の向上

## 地球環境への貢献



1. 自然エネルギー普及を通じた豊かな社会の実現
2. 保有施設における水の再利用

## サービスを通じた 社会保障政策への貢献



1. 持続可能な社会保障インフラの整備
2. 先進的な職場環境を通じた労働環境の改善

## レジリエントな 経営基盤



1. 強固なコーポレート・ガバナンス
2. 持続的な経営発展
3. 社員の幸福度の向上



# 会社概要および事業領域等

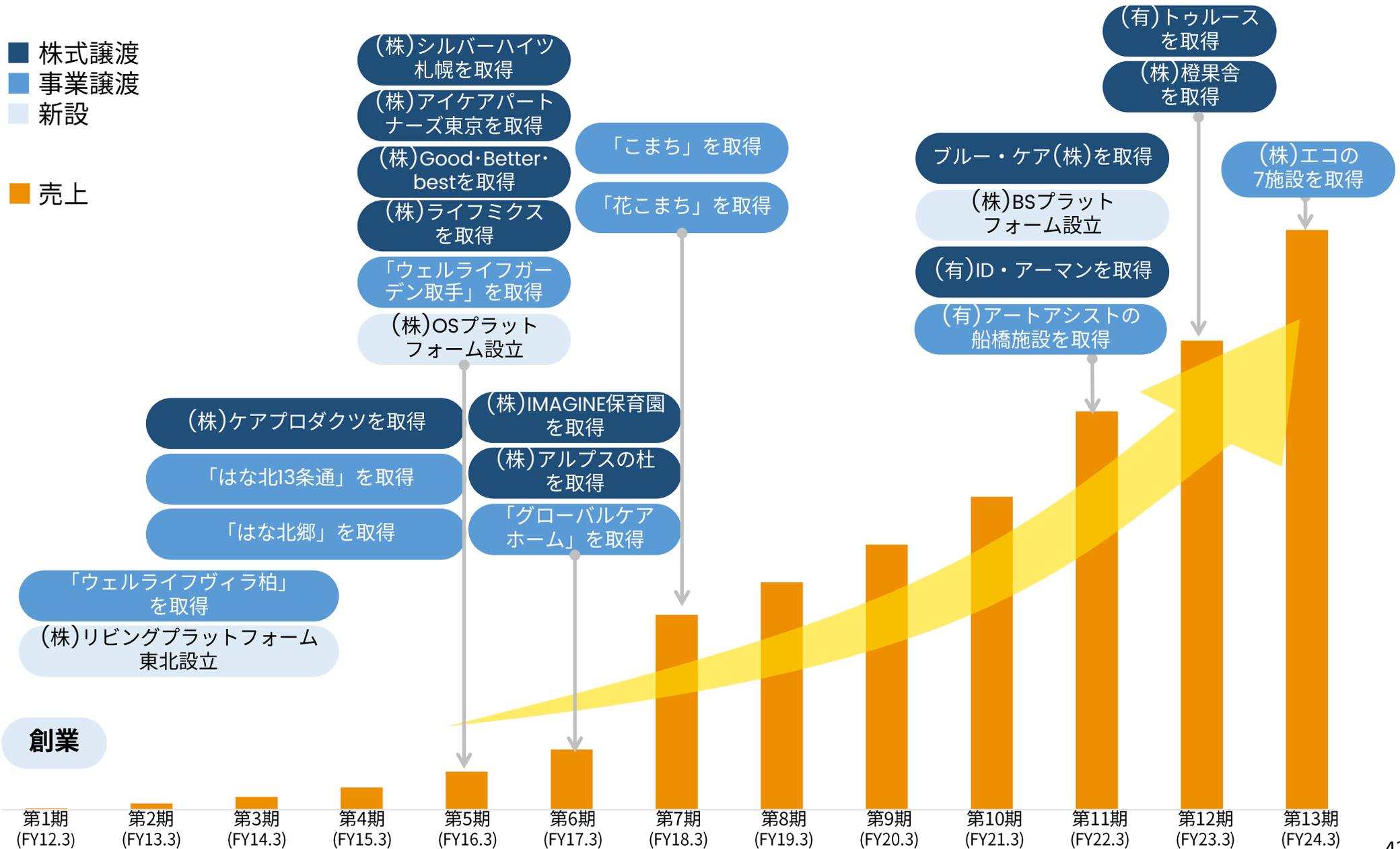
# 会社概要

会社名	株式会社リビングプラットフォーム	
役員	代表取締役 取締役 取締役 取締役（社外取締役） 取締役（社外取締役） 取締役（社外取締役） 監査役（社外監査役） 監査役（社外監査役） 監査役（社外監査役）	金子 洋文 林 隆祐 柳 慎一 田中 宏明（弁護士） 河江 健史（公認会計士） 平尾 喜昭 後藤 充宏（公認会計士） 片倉 秀次（弁護士） 角野 里奈（公認会計士）
設立日	2011年6月28日	
上場日	2020年3月17日（東京証券取引所マザーズ市場（現グロース市場） 証券コード：7091	
社員数	2,809名（パート社員含む）	
グループ会社	株式会社リビングプラットフォームケア 株式会社OSプラットフォーム 株式会社シルバーハイツ札幌 株式会社ナーサリープラットフォーム 有限会社トゥルース	株式会社チャレンジプラットフォーム 株式会社BSプラットフォーム ブルー・ケア株式会社 有限会社ID・アーマン

（2023年12月31日現在）

# 積極的なM&Aによる拡大

✓ 自社開発と積極的なM&Aとの両輪により、売上を拡大中



## 事業領域

(株)リビングプラットフォームは「持続可能な社会保障制度を構築する」ことを理念に掲げ、民間企業として、全国各地に「介護」＋「障がい者支援」＋「保育」推進のための施設及びサービスを三位一体で提供します。



# 主な事業領域



## 介護

効率的で職員採用が有利な施設介護がメイン

### 施設介護

介護療養型

介護老人保健施設（老健）

特別養護老人ホーム（特養）

高齢者グループホーム

有料老人ホーム※1

その他

### 在宅介護※2

訪問介護

訪問看護

訪問入浴

訪問リハビリテーション

定期巡回・随時対応型訪問介護看護

居宅介護支援

通所介護

その他

当社の事業領域

※1 有料老人ホームは、「特定施設（介護付き施設）」と「サ高住・住宅型」に分かれる。

また、「サ高住・住宅型」には、訪問介護、訪問看護、定期巡回・随時対応型訪問介護看護、居宅介護支援の一部が含まれる。

※2 当社の在宅介護は有料老人ホームにおいて提供するため、実質的には介護施設となる。



## 障がい者支援

競合の少ない「住む場所の支援」と「初期段階の就労支援」

### 訪問

居宅介護（ホームヘルプ）  
重度居宅介護  
同行援護  
行動援護  
その他

### 施設

施設入所支援

### 日中活動

生活介護  
その他

### 訓練・就労

自立訓練（機能訓練）  
自立訓練（生活訓練）  
就労移行支援  
就労継続支援A型  
**就労継続支援B型**  
就労定着支援

### 居住支援

自立生活援助  
**共同生活援助（グループホーム）**

**当社の事業領域**

# 🌿 主な事業領域



## 保育

認可の他、病児保育を併設する企業主導型も展開

### 市町村全体

施設型

**認可保育所**

幼稚園

認定こども園

地域型

小規模保育

家庭的保育

居宅訪問型保育

事業所内保育

### 国全体

**企業主導型保育**

その他

**当社の事業領域**

## 免責事項及び開示方針

本資料には、将来に関する見通し、期待、判断、計画、戦略等が含まれています。

この将来予測に基づく記載は、事業需要変動、事業開発スケジュール変動、各種制度変更、自治体等の指導変更、関係会社の業績及びその他のリスクや不確定要素を含みます。

また、これらの記載は、将来の実績を保証するものではなく、実際の結果が、当社の現在の期待とは実体的に異なる場合がありますのでご了承下さい。

このような違いは、多数の要素やリスクが原因となり得ますので、これらの要素やリスクについては、当社の継続開示及び適時開示等の記載をご覧ください。

お問い合わせ先

株式会社リビングプラットフォーム  
コーポレートコミュニケーション室  
✉ [ir@living-platform.com](mailto:ir@living-platform.com)